PERIODICAL

LIBRARY
MAR 21 1960
FISH & WILDLIFE SERVICE

Operations march + April 1959

#6

鮪漁業 第六十六号 昭和三十五年二月十日発行 (毎月一回十日発行)

鮪漁業

TUNA FISHING

THE INVESTIGATIVE SOCIETY OF TUNA FISHERY JAPAN

鮪漁業研究会

No. 66, 1960

February

クレモナ

万漁 鮪延縄（10番手）

クレモナ10番手糸は、特に太物製品に適するように新しく製造した原糸です。その性能は従來の20番手糸と同様ですが、強力の点で特に優れているのが特長です。鮪延縄には、"用途に應じてより適した原糸クレモナ10番手製品をおすゝめします。

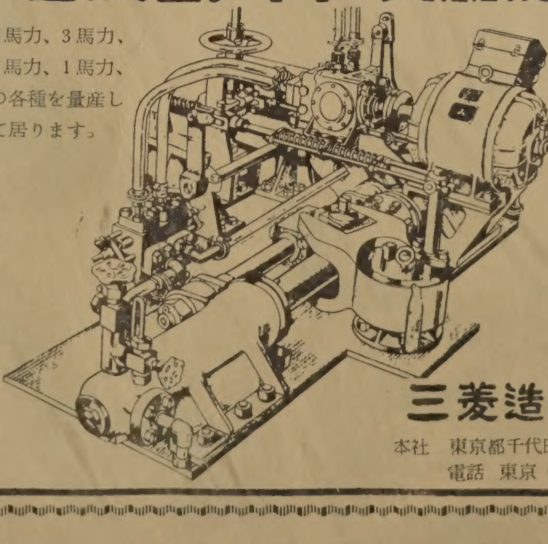
説明パンフレット進呈

倉敷レイヨン株式会社・大阪市北区梅田2・東京都中央区日本橋室町2

漁船用

三菱小型ジャネー式電動油圧舵取装置

5馬力、3馬力、2馬力、1馬力、の各種を量産して居ります。



商船及び艦艇用として多年絶対的信用を博している三菱ジャネー式舵取装置を漁船用として小型化したもので既に100台以上が漁船に取付けられ好評を得て居ります。

三菱造船株式會社

本社　東京都千代田区丸ノ内2の4（三菱本館）

電話　東京（28）代表5111．3111．0331

1960 目次 No. 66

鮪漁船紹介　☆第11八千代丸　☆永久丸

鮪漁況速報　1959年11月下旬，12月上旬，12月中旬，12月上旬

鮪漁場図　1959年3月操業，1959年4月操業

1959年3，4月に於ける鮪漁場の漁況と海況の概要（委託調査船334，322隻の資料による） 1

1. 操業船の分布……………………… 1　2. 海況……………………… 1

3. 漁況…………………………………………………………………… 1

A. 東部太平洋第3漁場……………… 1　B. 中部太平洋第1漁場……………… 1

C. 中部太平洋第2漁場……………… 1　D. 中部太平洋第3漁場……………… 1

E. 西部太平洋第1漁場……………… 1　F. 西部太西洋第2漁場……………… 2

G. 西部太平洋第3漁場……………… 2　H. 西部太平洋第4漁場……………… 2

I. バンダ、フロレス海区漁場……… 2　J. 東部印度洋漁場…………………… 2

K. 北部印度洋漁場…………………… 2　L. 中部印度洋漁場…………………… 2

M. 南部印度洋漁場…………………… 2

月別，漁場別，鮪類漁獲調査表（1959年3月操業分）別表1……………………… 3

月別，漁場別，鮪類体長組成表（1959年3月操業分）別表2……………………… 7

月別，漁場別，鮪類漁獲調査表（1959年4月操業分）別表1………………………14

月別，漁場別，鮪類体長組成表（1959年4月操業分）別表2………………………18

マグロ漁況概況予報（1960年3月）…………………神奈川県水産試験場……………26

まぐろ研究報告の紹介 No. 9

東支那海マグロ延縄漁業の研究 II

マカジキの生態について………………………………………………………28

かつを，まぐろ漁業経済調査報告第1報

茨城県かつを，まぐろ漁船の生産性及び水揚収益に関する調査…………28

まぐろ延縄漁業における漁獲率の海区別経年変化の概観(2)

永井三夫、中込　淳、福岡信之（神奈川県水産試験場）……………………30

回転式桶を用いてマグロ延縄漁具を取扱う一つの新しいこころみ(2)

太平洋水産研究所

ハーバート・ジェイ・マン　訳文　河口喬太郎……………………………31

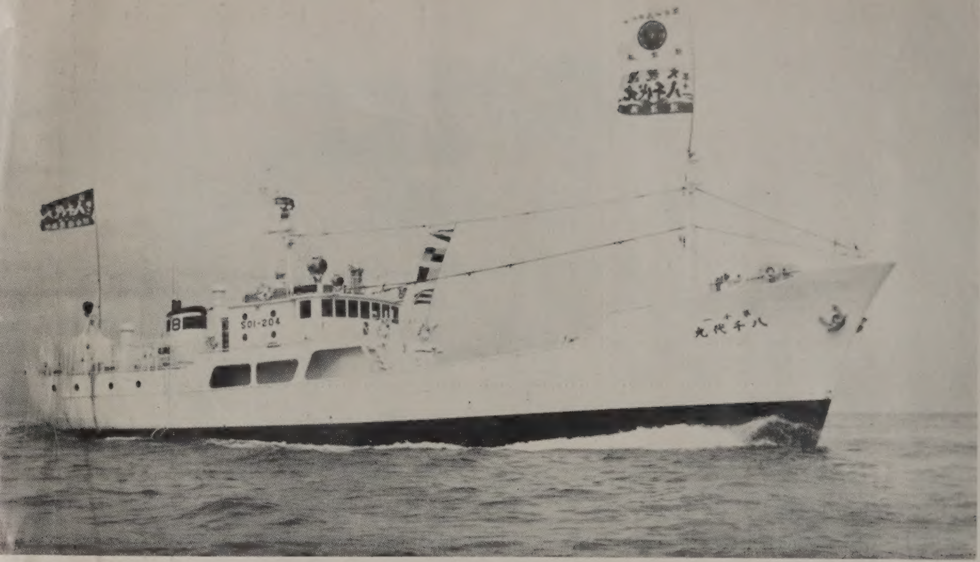
ベンガル滝におけるキハダの漁況と分布の経年および周年変化

中込　淳（神奈川県水産試験場）……………………………33

鮪類水揚価格表（三崎）昭和35年1月…………………………………………… 5

鮪漁業研究会会員名簿（続）……………………………………………………35

業界メモ（1960年1月）…………………………………………………………39



第11 八 千 代 丸

船主	大久保義郎（焼津市）
造船所	株式会社 金指造船所
主要寸法	長36.70m×幅7.10m×深3.40m
総屯数	247.60屯
魚艙	254.98m³
燃料油艙	146.37m³
速力	最大 11.61節
主機	デーゼル650HP（新潟鉄工）1基
補機	デーゼル 80HP（ 〃 ）2基
無線	250W，100W（七洋無線）各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 5″×4″ 30HP アンモニヤ直膨式 5″×4½″ 40HP 各1基
レーダー，ローラン(光電)，魚探(産研)，M. C. P.	其の他 各1式
竣工	昭和34年10月3日

漁船の冷凍装置に定評ある

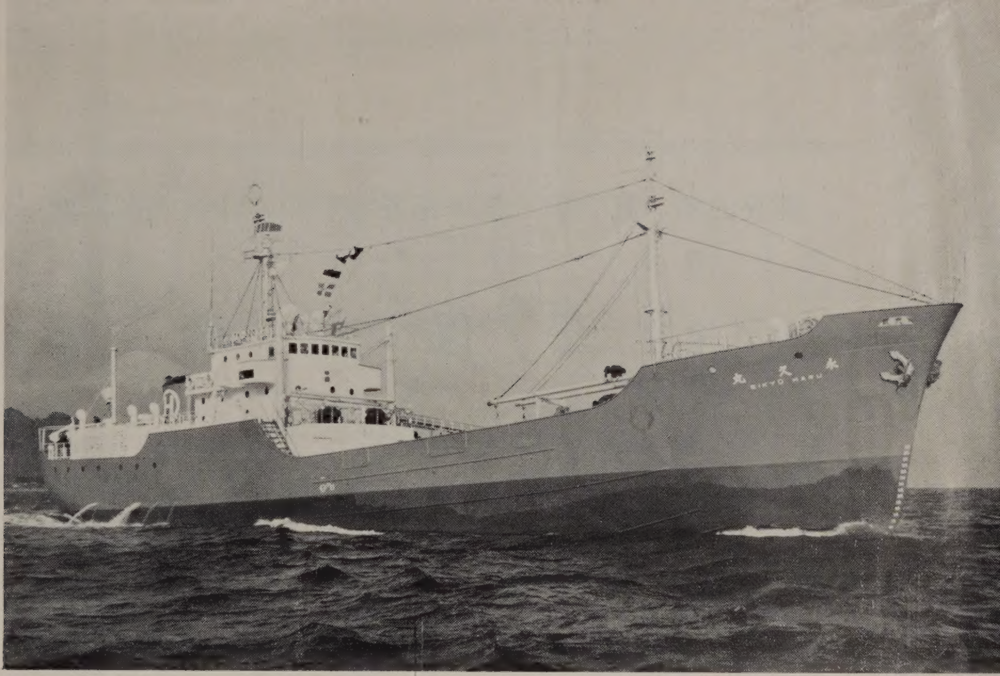
日新興業株

本　　社　大阪市北区中之島3の3（朝日ビル）
東京支店　東京都中央区銀座西6の3（朝日ビル）
室戸出張所　高知県室戸市室津
清水出張所　清水市三保本村四区
三崎出張所　神奈川県三浦市三崎町西野34
石巻出張所　宮城県石巻市門脇町104

各種鋼製漁船の建造並に修理

株式会社　金指造船所

本社工場　清水市三保4010—19　電話　清水(2) 4111〜5
塚間工場　清水市三保弁天492　電話　清水(2) 5151〜2
東京事務所　東京都港区芝田村町3ノ4　電話　芝(591)1306〜8
三崎出張所　三浦市三崎町西野34　電話（三浦）2851



永　久　丸

式会社

TEL. 北浜（23）9736（代表）
TEL. 銀座（57）7607（代表）
TEL. 室戸　352
TEL. 清水（2）3507
TEL. 三浦　2751
TEL. 石巻　505

施工船名
第11八千代丸
永久丸
第36住吉丸
第5秋津丸
第36宝幸丸
第28光栄丸
(其の他 約七百隻)

船主	報国水産株式会社
造船所	株式会社　金指造船所
主要寸法	長53.58m×幅9.30m×深4.55m
総屯数	679.95屯
魚艙容積	756.76m³
燃料油艙	370.05m³
速力	最大　13.47節
主機	デーゼル1,600IP（赤阪鉄工）　1基
補機	デーゼル　200IP（　〃　）　2基
無線	A₁500 A₂200W, A₁75 A₂200W（安立）各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニア直膨式 MA-6N　3基
レーダー（安立），ローラン（光電），音測（産研），方探（光電），速力通信機，其の他	各1式
曳航艇1隻	乗員50名
竣工	昭和34年11月25日

各種漁船用デイーゼル機関は定評ある

50馬力～5000馬力

株式会社　**赤阪鉄工所**

本　社　東京都中央区銀座一ノ三（千成屋ビル）電話京橋（561）4902～3
北海道出張所　札幌市北四条西六丁目（北洋ビル）　電話（3）4507
大阪出張所　大阪市東区北浜四ノ三八　電話北浜（23）4790
工　場　静岡県焼津市中港町五九四　電話（焼津）2121～5

鋼製漁船・貨物船・其の他各種船舶の建造並に修理

株式会社 三 保 造 船 所

本社 工場　静岡県清水市三保3797　電話清水(2)代表2201番
東京事務所　東京都中央区八重洲3の7（東京建物ビル）　電話 東京（281）代表6341番

船出の支度
石油は出光で

安全快適な航海の為に
是非・・・・・

出光興産株式会社

本　社　東京・銀座東四丁目
三崎出張所　三浦市三崎町海南　電話三浦3432

多年の技術と経験を生かす！
営業種目　船舶・陸上

冷凍・冷蔵・製氷・冷房

冷凍・冷蔵・製氷工場
急速・空気凍結装置・冷房装置
冷凍機械器具・防熱装置
船舶冷凍冷蔵
設計 製作 施工

協同低温工業株式会社

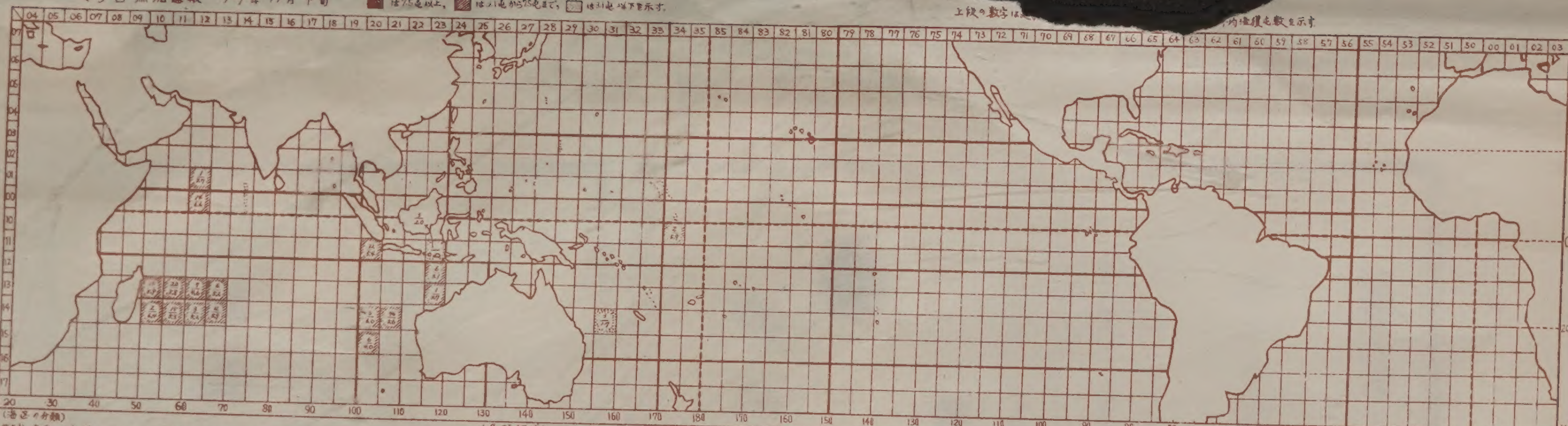
本　社　東京都千代田区神田佐久間町河岸58（夏目ビル2階）
電話東京（866）0996・0997番
札幌営業所　札幌市北五条西5丁目　電話 札幌(2)4895番

神奈川県水産試験場

マグロ漁況通報 1959年 11月下旬

■は75屯以上, ▨は31屯から75屯まで, □は31屯以下を示す.

上段の数字は…均漁獲屯数を示す



(海区の分類)

記号	名称	範囲	記号	名称	範囲	記号	名称	範囲
アラ	アラビア海	N5°以北, E80°以西	西太4	西太平洋4	S10°-S30°, E130°-E170°	東太3	東太平洋3	N5°-S10°, W150°以東
ベン	ベンガル湾	N5°以北, E80°-E100°	・5	〃 5	S30°以南, 〃	・4	〃 4	S10°-S30°, 〃
中印	中印度洋	N5°-S10°, E100°以西	中太1	中太平洋1	N20°以北, E170°-W150°	・5	〃 5	S30°以南, 〃
南印	南印度洋	S10°以南, E20°-E100°	・2	〃 2	N5°-N20°, 〃	西大北	西大西洋北部	N5°以北, W30°以西
南支	南支那海	N5°以北, E120°以西	・3	〃 3	N5°-S10°, 〃	・中	〃 中部	N5°-S5°, 〃
西太1	西太平洋1	N20°以北, E120°-E170°	・4	〃 4	S10°-S30°, 〃	・南	〃 南部	S5°以南, 〃
・2	西太平洋2	N5°-N20°, 〃	・5	〃 5	S30°以南, 〃	東大北	東大西洋北部	0°以北, W30°以東
・3	西太平洋3	N5°-S10°, 〃	東太1	東太平洋1	N20°以北, W150°以東	・南	〃 南部	0°以南, 〃
濠西	濠州西部	S10°以南, E100°-E120°	・2	〃 2	N5°-N20°, 〃			

(魚種組成)

海区	キハダ	メバチ	ビンナガ	インド	ゴウシュウ	クロカワ	シロカワ	マカ	メカ	雑
アラ0112 中印0012	76.3	16.6				3.6	0.8	2.5	0.1	
中印1120	56.6	26.0	6.8			6.3	3.0	1.4		
中印1123	98.9	1.1								
濠西1223	61.1	3.9	4.3	20.2		1.2	5.4	3.9		
濠西1323	24.2	3.2	24.2	44.2		1.1	1.1	2.1		
濠西西部	2.3	1.6	32.7	60.9		0.1		1.1	0.8	0.6
南印	4.4	0.2	93.7			0.9	0.4	0.3	0.1	
西太4 1431	9.0	1.8	42.3			0.9	3.6	39.6	2.7	
中太3 1034	91.3	6.6	0.2			1.3				0.6

(概況)

アラ0112と中印0012とは操業位置が前者は5°N後者は全部が4°Nと近接しているので魚種組成は殆んど変らない。この海区は毎年春と晩秋が好漁期で今月が丁度その時期に当っている。　南印のビンナガは依然好漁である

濠西のインドマグロも好漁で中でも濠洲に近い海区1421及び1323で比較的多く獲れた。

中太3.1034の小キハダは中旬よりやゝ落ちたが漁獲5.9屯と好漁であった。

西太4.1431は24°Sではマカジキが15尾程度以外は殆んど獲れなかったが20°S附近へ北上した時ビンナガが約25尾獲れた。

150°〜180°Eでは15°〜20°Sのみが晩秋〜冬ビンナガの好漁期にあるのでその影響と思はれる。

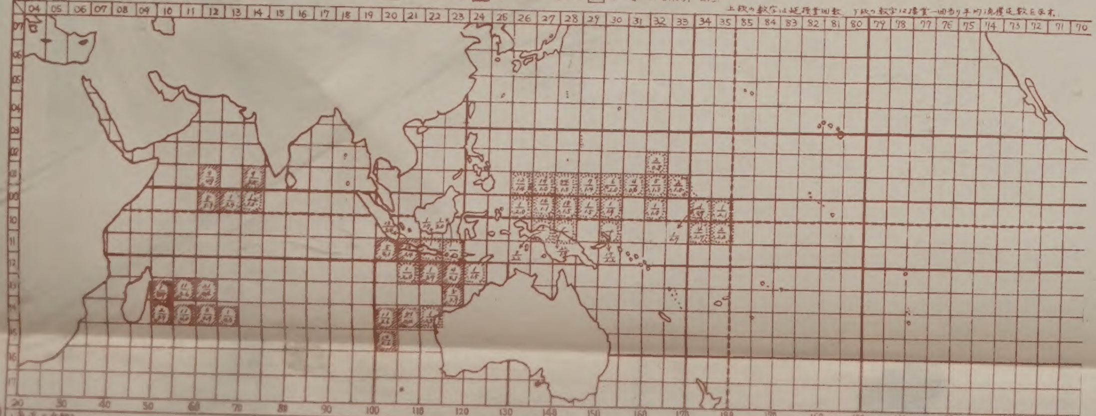
(註) 濠西西部：1420, 1421, 1520

(註) 漁場小区分の番号 [illegible]

マグロ漁況通報 1959年 12月上旬

■は75屯以上, ▨は31屯から75屯まで, □は31屯以下を示す. また

上段の数字は延操業回数　下段の数字は操業一回当り平均漁獲屯数を示す.



(海区の分類)

記号	名称	範囲	記号	名称	範囲	記号	名称	範囲
アラ	アラビア海	N5°以北, E80°以西	西太4	西太平洋4	S10°-S30°, E130°-E170°	東太3	東太平洋3	N5°-S10°, W150°以東
ベン	ベンガル湾	N5°以北, E80°-E100°	・5	〃 5	S30°以南, 〃	・4	〃 4	S10°-S30°, 〃
中印	中印度洋	N5°-S10°, E100°以西	中太1	中太平洋1	N20°以北, E170°-W150°	・5	〃 5	S30°以南, 〃
南印	南印度洋	S10°以南, E20°-E100°	・2	〃 2	N5°-N20°, 〃	西大北	西大西洋北部	N5°以北, W30°以西
南支	南支那海	N5°以北, E120°以西	・3	〃 3	N5°-S10°, 〃	・中	〃 中部	N5°-S5°, 〃
西太1	西太平洋1	N20°以北, E120°-E170°	・4	〃 4	S10°-S30°, 〃	・南	〃 南部	S5°以南, 〃
・2	西太平洋2	N5°-N20°, 〃	・5	〃 5	S30°以南, 〃	東大北	東大西洋北部	0°以北, W30°以東
・3	西太平洋3	N5°-S10°, 〃	東太1	東太平洋1	N20°以北, W150°以東	・南	〃 南部	0°以南, 〃

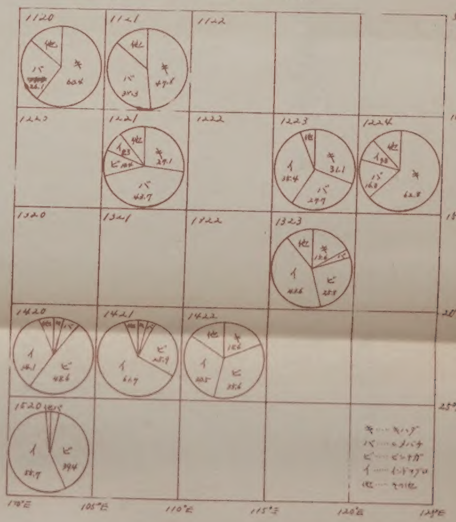
(魚種組成)

海区	キハダ	メバチ	ビンナガ	インド	ゴウシュウ	クロカワ	シロカワ	マカ	メカ	雑
アラ	62.6	23.3				6.5	2.4	2.6	0.5	
中印0012	84.4	12.7				1.1	0.8	1.0		
南印	4.4	0.2	92.2			2.2	0.4	0.4	0.1	
西太2	65.1	24.8	0.3			6.1	0.3	0.1		3.4
西太3	84.9	6.2	0.6			2.8	0.1			5.5
中太3	82.9	12.9	0.5			2.6		0.2	0.2	0.7

(概況)

中印.0014の漁獲1.0屯はアルダイブ諸島の東側(4°N 74°E)の漁況で西側に比べて非常に悪い。　南印.全海区にわたって漁獲3〜4屯に低下した。　中太3.11月中旬〜下旬好漁だった1034は0.7屯に激減した。

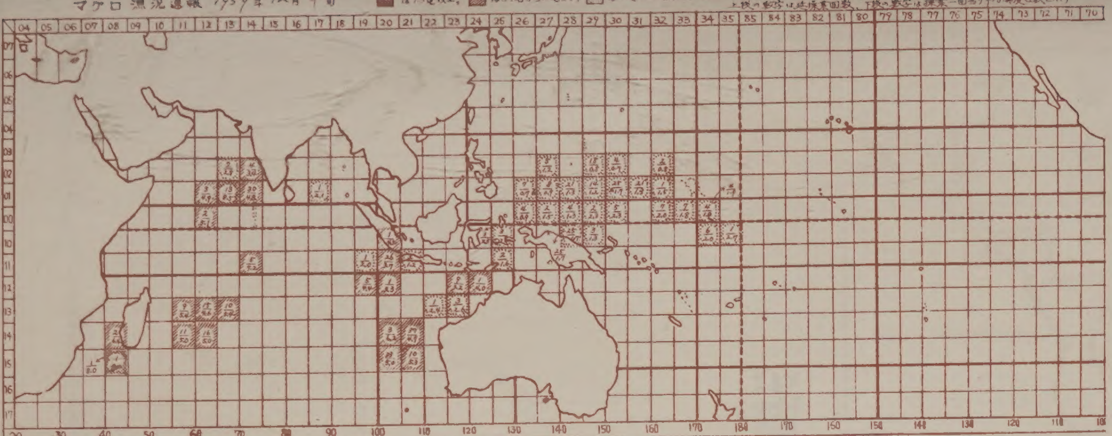
中印度洋東部～濠州西部海区の魚種組成



神奈川縣水産試験場

マグロ漁況速報 1959年12月中旬

■ は7.5匹以上、▨ は3.1匹から7.5匹まで、□ は3.1匹以下を示す。また、上段の数字は延操業回数、下段の数字は操業一回当り平均漁獲匹数を示す



（海区の分類）

符号	名称	範囲	符号	名称	範囲	符号	名称	範囲
アラ	アラビア海	N5°以北, E80°以西	西太4	西太平洋4	S10°-S30°, E130°-E170°	東太3	東太平洋3	N5°-S10°, W150°以東
ベン	ベンガル湾	N5°以北, E80°-E100°	・5	〃 5	S30°以南, 〃	・4	〃 4	S10°-S30°, 〃
中印	中印度洋	N5°-S10°, E100°以西	中太1	中太平洋1	N20°以北, E170°-W150°	・5	〃 5	S30°以南, 〃
南印	南印度洋	S10°以南, E20°-E100°	・2	〃 2	N5°-N20°, 〃	西大北	西大西洋北部	N5°以北, W30°以西
南支	南支那海	N5°以北, E120°以西	・3	〃 3	N5°-S10°, 〃	・中	〃 中部	N5°-S5°, 〃
西太1	西太平洋1	N20°以北, E120°-E170°	・4	〃 4	S10°-S30°, 〃	・南	〃 南部	S5°以南, 〃
・2	西太平洋2	N5°-N20°, 〃	・5	〃 5	S30°以南, 〃	東大北	東大西洋北部	0°以北, W30°以東
・3	西太平洋3	N5°-S10°, 〃	東太1	東太平洋1	N20°以北, W150°以東	・南	〃 南部	0°以南, 〃
濠西	濠洲西部	S10°以南, E100°-E130°	・2	〃 2	N5°-N20°, 〃			

（魚種組成）

海区	キハダ	メバチ	ビンナガ	インド	ゴウシュウ	クロカワ	シロカワ	マカ	メカ	雑
アラ	62.9	20.0				7.8	1.5	4.6	0.3	2.9
ベン	19.4	16.1				9.7	9.7	16.1	29.0	
中印	90.2	6.9	0.2			0.6	0.5	1.6		
南印イ	8.1	0.2	85.7			4.5	0.7	0.6	0.2	
南印ロ	55.3	0.6	38.3			1.4	0.5	3.6	0.2	
バンダ海	51.8	30.9				5.2	3.7	8.4		
西太2	76.0	17.4	0.1			5.0	0.2			1.3
西太3	84.5	9.2				5.8	0.2			0.3
中太3	78.6	18.5	0.2			2.3		0.1	0.2	

（概況）

南印．マダガスカル島東方海域は上旬やゝ落ちたが中旬再び5匹台に上った。同島南西海域も好漁である。魚種は東方海域が殆んどビンナガであるのに対し南西海域はキハダが半数以上を占めている。

（註）南印イ：1311．1312．1313．1411．1412
南印ロ：1408．1409

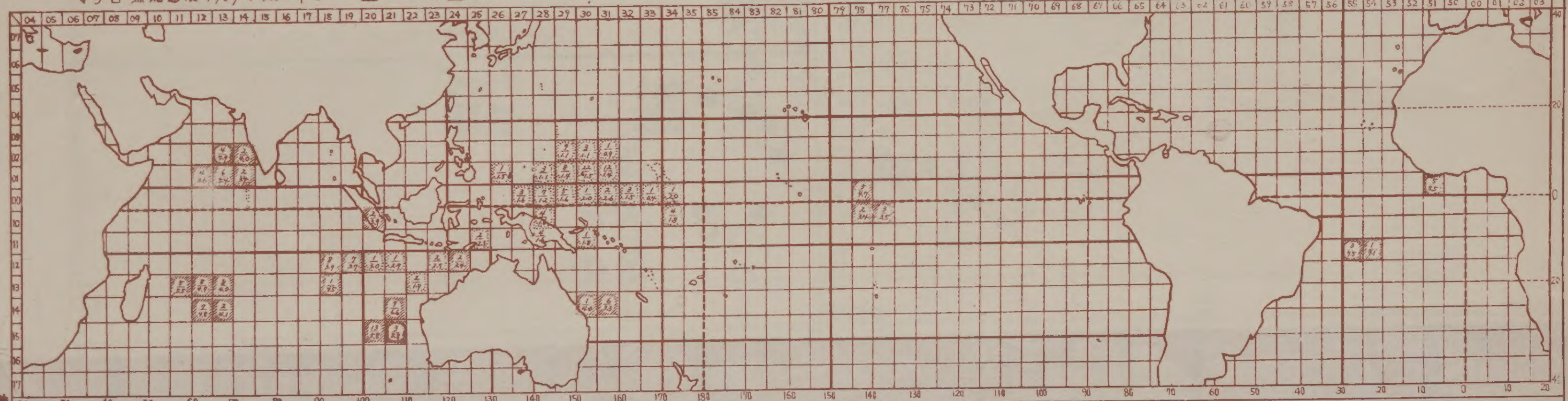
（註）漁場小区分の番号—緯度,経度の区分を示す。[illegible]

中印東部，南印東部及び濠洲西部海区の魚種組成

神奈川縣水産試験場

マグロ漁況速報 1959年12月下旬

■ は7.5匹以上、▨ は3.1匹から7.5匹まで、□ は3.1匹以下を示す。また、上段の数字は延操業回数、下段の数字は操業一回当り平均漁獲匹数を示す



（海区の分類）

符号	名称	範囲	符号	名称	範囲	符号	名称	範囲
アラ	アラビア海	N5°以北, E80°以西	西太4	西太平洋4	S10°-S30°, E130°-E170°	東太3	東太平洋3	N5°-S10°, W150°以東
ベン	ベンガル湾	N5°以北, E80°-E100°	・5	〃 5	S30°以南, 〃	・4	〃 4	S10°-S30°, 〃
中印	中印度洋	N5°-S10°, E100°以西	中太1	中太平洋1	N20°以北, E170°-W150°	・5	〃 5	S30°以南, 〃
南印	南印度洋	S10°以南, E20°-E100°	・2	〃 2	N5°-N20°, 〃	西大北	西大西洋北部	N5°以北, W30°以西
南支	南支那海	N5°以北, E120°以西	・3	〃 3	N5°-S10°, 〃	・中	〃 中部	N5°-S5°, 〃
西太1	西太平洋1	N20°以北, E120°-E170°	・4	〃 4	S10°-S30°, 〃	・南	〃 南部	S5°以南, 〃
・2	西太平洋2	N5°-N20°, 〃	・5	〃 5	S30°以南, 〃	東大北	東大西洋北部	0°以北, W30°以東
・3	西太平洋3	N5°-S10°, 〃	東太1	東太平洋1	N20°以北, W150°以東	・南	〃 南部	0°以南, 〃
濠西	濠洲西部	S10°以南, E100°-E130°	・2	〃 2	N5°-N20°, 〃			

（魚種組成）

海区	キハダ	メバチ	ビンナガ	インド	ゴウシュウ	クロカワ	シロカワ	マカ	メカ	雑
アラ	66.9	11.1				11.1	1.7	5.3	0.2	3.8
中印1020	76.4	13.7				6.5	3.0	0.4		
南印イ	6.7	0.4	86.4			4.9	0.8	0.6		0.1
南印ロ	12.9	13.6	66.1			3.9	1.8	0.7	1.1	
濠西イ	32.0	10.7	48.5			6.8	1.0	1.0		
濠西ロ	55.3	6.5	5.6	21.6		2.0	6.3	1.9		0.7
濠西ハ	1.4	1.2	19.7	74.7		0.1	0.8	1.6	0.3	0.1
バンダ海	64.1	23.3				2.9	9.7			
西太2	81.2	13.0	0.7			4.5	0.3	0.3		
西太3	79.5	16.1				4.4				
中太3	74.8	19.5				4.7		0.3		0.8

（註）南印イ：1311，1312，1313，1412，1413．
南印ロ：1218，1219．1318．　濠西イ：1220．
濠西ロ：1221，1322，1223，1224．
濠西ハ：1421，1520，1521．

アラビア海 0213 のキハダと濠西 1521 のインドマグロの好漁が目立つ
他は、各海区とも中旬と殆んど変りのない漁況であった。

太平洋 西太4 中太3 及び大西洋 東大南 東大西 の魚種組成は不明

（註）漁場小区分の番号—緯度,経度の区分を示す。[illegible]

鮪漁場図
(1959年3月操業)
例
◎ 200 ton 以上
○ 100-200 ton
× 100 ton 以下
魚種の後の数字は釣獲率を示す
釣獲率＝漁獲尾数/釣数 ×100
← 表面海流
数字 表面水温
アラビヤ海区
セイロン海区
アンダマン ニコバル海区
スマトラ西洋海区
ジャワ海区
ヌサテンガラ チモール海区
バンダ フロルス海区
セレイス海
スルー海
南支那海
台湾東海
フィリピン東海
西部太平洋亜熱帯漁区
旧南洋庁海漁区
西部印度洋
中部印度洋
濠州西方海区
マダガスカル
濠洲
マリアナ

ハワイ
トンガ
ニューカレドニア
0-15S 140-120W

鮪漁場図
(1959年4月操業)
◎ 200 ton 以上
○ 100-200 ton
× 100 ton 以下
● 400ton 以上
◐ 300~400ton
魚種の後の数字は釣獲率を示す
釣獲率＝漁獲尾数/釣数 ×100
← 表面海流
セイロン海区

アァンニング
ニューカルドニア漁区

1959年3,4月に於けるマグロ漁場の漁況と海況

（委託調査船334，322隻の資料による）

Sea and Fishing Condition of Tuna Fishing Grounds in Mar. and. Apr. 1959
(By the data collected from the 334 and 322 appointed boats)

1. 操業船の分布

日本近海の操業船は，ビンナガの西進回遊を追って4月には完全に西偏し，マーシャル東方からハワイ南西5°N以北の海区にかけて密集していた操業船は，メバチの好漁期が過ぎると同時に急激に減少した．これに対し，カロリン周辺5°N以南及びソロモン北東海域は，2月まで殆んどみられなかったが，3月から次第に増加して来た．

印度洋では，インドマグロの好漁期が過ぎると同時に濠洲スチーブ岬沖の操業船が減少し，キハダ最盛期の4月にベンガル湾の操業船が増加している，また，2月にクロカワをねらってラカディブ諸島西方に密集していた操業船はみえなくなり，3月からマルディブ，チャゴス，セーシエルの各諸島に囲まれた海域の操業船が増加している．

2. 海　　況　　漁場図参照（別添）

3. 漁　　況

A　東部太平洋第3漁場（5°N～10°S，150°W以東）

ガラパゴス海区のメバチの釣獲率は7，8月共に高率であるが，昭和33年（1958年）と同様2月から低下して来，7，8月とも1958年とほぼ同率である．

*漁場名は本誌最前頁の漁況速報図を参照されたい．

0～15°S，140～120°Wの海区の3月は，キハダは1月から低下して来て低率0.7メバチも1，2月より低く，上昇して来たビンナガとほぼ同率で2.5，2.1，クロカワは1月以降0.5で変わらない．

アルキペラゴ海区の3月のビンナガは1月以降わずかずつ低下して来て1.2，クロカワも1，2月よりかなり低下して0.9となっている．

B　中部太平洋第1漁場（20°N以北，180°～150°W）

ミッドウェーのメバチは，釣獲率が最盛期の1月よりは低下したが，なおかなり残存し，3月には1.1で33年と同率である．4月は1.8で33年の1.3より高率であるが，同海区は170°W以西より以東の方が釣獲率が高いのに対し，操業海域が33年は西偏，34年は東偏しているためである．また，165°W以西よりも以東の方が釣獲率が高く，以西1.5，以東3.0である．

C　中部太平洋第2漁場（5～20°N，170°E～150°W）

メバチの釣獲率は，1，2月，また，33年とも同様ハワイ南西海区5°N以北，マーシャル北東海域，マーシャル南西海域の順に高い．なお，3，4も好漁期であるが，34年は再び31年と同様の低率となり，釣獲率はハワイ南西海区5°N以北が3月1.7，4月2.0，マーシャル北東海域が3月1.6，4月1.8，マーシャル南東海域は3月1.1，4月1.2となっている．なお，この低率は漁場の偏りによるものではなく，魚群の絶対量が少いためである．

D　中部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E～150°W）

この漁場のキハダは，毎年3，4月頃から好漁期に入るが，昭和34年は概しておそく，ギルバート北方海域は3月1.5，4月1.9で上昇途上であるがなお低く，ギルバート南方海域も同様で3月2.0，4月1.8である．サモア海区5°S以北は170°Wの東，西で異なり，以西の海域は同様3月1.0，4月1.6でまだ低率，以東の海域は1，2，3月と，既に1月から2.3～2.9の高率が続いている．ハワイ南東海区5°N以南は3月から，ハワイ南西海区5°N以南は4月から，共に例年と同様好漁期に入り，釣獲率は前者が3月3.0，後者は3月2.1，4月4.6である．

E　西部太平洋第1漁場（20°N以北，180°以西）

メバチは不漁期で釣獲率は0.2～0.4，ビンナガは3月が好漁末期で，150～160°Eの海区と伊豆諸島東方海区

は1.4～1.6，南海々区は2.2，4月には殆んど消滅した．これに対し，南海々区のクロマグロの釣獲率が急激に上昇し，3月0.1，4月0.4となった．

F　西部太平洋第2漁場（5～20°N，170°E以西）

メバチは全般的に漁期を過ぎ，3月1.0～1.2，4月0.7～0.9である．中部太平洋第2漁場のメバチは32，33年より著しく低率であったが，この漁場は例年と殆んど変わらない．

フイリピン東海は，ミンダナオ東南海域ではメバチが高率で3.0，ルソン島北東海域ではキハダが1.7で高く，メバチは低率である．なお，4月にパラオ周辺でキハダが2.3と多獲されているが，これは反流または島の影響により時々みられる現象で，特異な例と考えられる．

G　西部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E以西）

0～5°Nの水帯のキハダは，3月には2.3で1，2月より稍低い程度の釣獲率であったが4月には1.3と激減した．但し，140～150°Eの海域は1.8で3月の2.0より稍低下した程度であり，上述の低下は，150～170°Eの海域の低下によるものである．この現象は，33年10，11，12月の好漁期に漁獲が案外高くならなかったことと何らかの関係があるものと思われる．

また，上述の現象はソロモン海区に於いても顕著にみられ，0～5°Sの水帯が11月2.9，1月1.5，2月2.9，3月1.7，4月には1.4に低下，5～10°Sの水帯も10月3.7，11月2.4，12月2.0で33年10～12月は極めて低率であった．

H　西部太平洋第4漁場（10～30°S，170°E以西）

ソロモン海区10～15°Sの水帯は，33年7～9月がこの時期としては2.0程度で高く，11～1月は1.4で低く，また4月には1.9を示し，周囲海域と，またこの海域の例年とも異なっている．

ソロモン海区10～13°Sのビンナガは2.7と例年より稍高率で，既に好漁期に入ったものと思われる．

I　バンダ，フロレス海区漁場

キハダは2月から高率になり．3，4月は好漁期で，釣獲率は3月1.7，4月2.8，なお，3月にアル諸島西方海域でシロカワが多獲され，釣獲率は2.2となっているが，この海域の周辺では，季節に関係なく，時々多獲される．

J　東部印度洋漁場（100°E以東）

キハダは好漁期を過ぎ，10°S以北の海域のみが高率で，4月にはチモール島西方が3.1となっている．これに対し，ビンナガは3月以降次第に北上し，ジャワ沿海，小スンダ，チモール沿海の10°S以南の海域は1月0.1～0.2，2月0.3，3月1.2～2.1，4月2.3～2.8と上昇，また4月にはココス島東方も3.2となっており，濠洲西端のオンスロー，スチーブ岬の西方沖合は1月1.6，2月1.0～1.3，3月0.6，4月0.3と低下している．

また，インドマグロは，3月はなお好漁期で，クリスマス島南方が0.6，スンバワ，スンバ両島西南方が1.2でオンスロー，スチーブ岬の西方沖合は7.0となっているが，4月は好漁期を過ぎて急激に低下し，オンスロー，スチーブ岬西方沖合も3.0となっている．

K　北部印度洋漁場（赤道以北）

ベンガル湾のキハダは好漁期であるが，30年以降南東から次第に漁獲が低下し，33年にはインド東岸ガンジャム，チカコル沖合のみが0.4を越す高率であったが，34年には2月3.4，3月スマトラ北西端西方で3.1であったが，4月には上述の両海域も3.0に満たなかった．メバチはキハダの半数以下の漁獲であるが，この海域としては3月を最盛とする好漁期で，3月1.1，4月0.6～0.9となっている．

アラビア海ラカデイブ諸島西方海域のクロカワは，3月はなお好漁期で1.2，キハダは好漁期で，3月は0～5°Nの水帯が5.0以上で高率，4月は0～10°N，55～70°Eの海域が高率で，やはり5.0以上となっている．

L　中部印度洋漁場（0～10°S，100°E以西）

キハダはなお好漁期でスマトラ西岸パタンの西方海域が4月3.0，ココス島北方海域が4月1.5，90°Eの直ぐ西側が3.8，マルデイブ諸島南方3～7°Sの付近が3月2.3，4月2.1，その西方の60～65°Eの周辺は3月6.2，4月5.9となっている．

M　南部印度洋漁場（10°S以南，100E以西）

4月に10～15°S，58～64°Eの海域では，キハダが2.2，ビンナガが2.4となっているが，この釣獲率は，この漁場がキハダ漁場（0～10°S）とビンナガ漁場（20～30°S）の中間型であるために生じたものであり，1月と同傾向である．

月別、漁場別、鮪類漁獲調査表

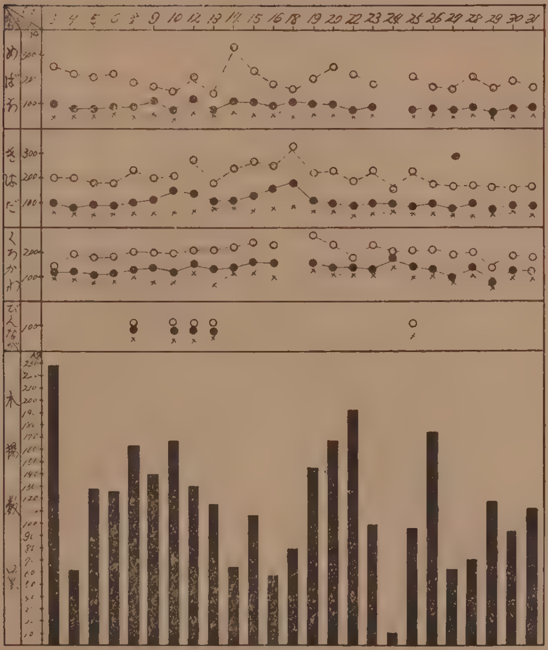
漁場	操業区域	調査隻数	体長測定船数	水温 (C°)	流向流速	操業回数	漁具数	鈎数	きはだ	ま めばち
0— 15S 140—120W	3— 13S 138—120W	7	3	26.0 30.8		128	47312	202433	1454 0.72	5149 2.54
ガラパゴス	3— 8S 118—108W	3	3	25.0 6.7		70	30278	136898	1457 1.06	5710 4.17
アルキペラゴ	17— 24S 135—125W	1	0	26.7 8.4		13	5850	23400	100 0.43	30 0.13
ミッドウエー	21— 27N 178—160W	14	5	21.2 4.4		214	74894	300246	312 0.10	3165 1.05
ハワイ南西 (5°N 以南)	0— 5N 180—160W	8	4	26.3 9.1		95	35847	164335	3520 2.14	1059 0.64
ハワイ南西 (5°N 以北)	5— 13N 180—158W	44	15	25.8 9.1		750	282127	1236918	6830 0.55	21431 1.73
ハワイ南東 (5°N 以南)	0— 4N 158—157W	1	0	1		9	3600	18000	535 2.97	63 0.35
0— 15S 160—140W	4— 14S 154—148W	2	1	27.0 9.0		27	10990	53710	983 1.83	206 0.38
サモア	0— 5S 176—161W	5	2	26.9 9.2		61	23474	110671	1680 1.52	384 0.35
30— 35N 150E—180	29— 34N 149—175E	14	1	16.2 9.9		212	72301	340516	13 0.00	1002 0.29
伊豆東方	29— 36N 139—170E	39	5	17.0 24.5		444	86251	570848	572 0.10	1781 0.31
西部太平洋 (170°E以西)	22— 31N 140—167E	35	6	18.1 26.8		405	99745	645499	279 0.04	2140 0.33
南洋北部 (170°E以西)	9— 13N 144—170E	26	4	25.7 8.2		248	80218	437504	4913 1.12	4141 0.95
南洋北部 (170°E以東)	9— 12N 170—180E	24	3	26.0 7.4		191	70689	319251	1476 0.47	4874 1.56
南洋南部 (170°E以西)	1— 11N 149—162E	32	7	26.6 9.5		383	127799	607792	9595 0.75	5768 0.45
南洋南部 (170°E以東)	3— 11N 169—179E	7	5	26.3 9.3		72	26759	128745	1232 0.96	1372 1.07
フイリピン東海	4— 18N 125—129E	3	0	25.8 8.3		43	11770	54280	936 1.72	401 0.74
ソロモン	0— 4S 163—179E	3	1	27.8 9.8		27	8936	50724	863 1.70	390 0.77
バンダ、フロレス	0— 8S 126—135E	2	0	28.2 9.8		39	14230	56920	721 1.17	227 0.40
小スンダチモール	11— 17S 114—122E	4	0	28.9 32.0		61	21689	108445	424 0.39	472 0.44
ジヤワ沿海	10— 14S 109—111E	1	0	23.8 8.0		3	1150	5750	21 0.37	37 0.64
アンダマンニコバル	5— 6N 91— 93E	2	0	28.3 9.0		7	3174	11199	343 3.05	119 1.05

(1959年3月操業分)

(別表 1)

ぐ　ろ			か　じ　き					かつお	雑	さめ	計	記事
びんなが	くろ鮪	いんど鮪	くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしよう					
4211			903	18	41	42	6	115	26	16	11981	
2.08			0.45	0.00	0.02	0.02	0.00	0.06	0.01	0.01	5.91	
31			511	16	167	16	6	46	42	379	8484	
0.02			0.37	0.01	0.12	0.01	0.00	0.03	0.03	0.28	6.20	
274			201	6	7	3	7				628	
1.17			0.86	0.03	0.03	0.01	0.03				2.68	
	1		67	7	759	239	1		79	297	4927	
	0.00		0.02	0.00	0.25	0.08	0.00		0.13	0.10	1.64	
170			560	28	20	30	40		97	163	5687	
0.10			0.34	0.02	0.01	0.02	0.02		0.06	0.10	3.46	
784			1653	72	314	114	218	267	1504	2105	35292	
0.06			0.13	0.00	0.03	0.00	0.02	0.02	0.12	0.17	2.85	
3			52	3	3	5					664	
0.93			0.29	0.02	0.02	0.03					3.69	
307			253	10	2	3				65	1829	
0.57			0.47	0.02	0.00	0.00				0.12	3.41	
402			308	8	7	28	18		122	17	2974	
0.36			0.29	0.00	0.00	0.03	0.02		0.11	0.02	2.67	
2212	54		2		27	2038		9	57	2746	8160	
0.65	0.02		0.00		0.00	0.60		0.00	0.02	0.81	2.40	
9097	83		3		193	1240	1	40	342	5348	18700	
1.59	0.01		0.00		0.03	0.22	0.00	0.00	0.06	0.94	3.28	
5199	3		128	4	968	380		11	191	3309	12612	
0.81	0.00		0.02	0.00	0.15	0.06		0.00	0.03	0.51	1.95	
37			693	6	555	38	104	46	1538	436	12507	
0.01			0.16	0.00	0.13	0.01	0.02	0.01	0.35	0.10	2.86	
168	1		471	4	99	21	70	15	362	325	7886	
0.05	0.00		0.15	0.00	0.03	0.00	0.02	0.00	0.12	0.10	2.52	
49			1095	21	257	37	289	182	1375	550	19218	
0.00			0.09	0.00	0.02	0.00	0.02	0.01	0.11	0.04	1.50	
34			346	6	15	10	61		94	137	3307	
0.03			0.27	0.00	0.01	0.01	0.05		0.07	0.11	2.57	
18			45	12	26	9	4	71	149	109	1780	
0.03			0.08	0.02	0.05	0.02	0.01	0.13	0.27	0.20	3.28	
56			192	6	2	6	126		37	179	1857	
0.11			0.38	0.01	0.00	0.01	0.25		0.07	0.35	3.66	
			89	822	58	11	63				1991	
			0.16	1.44	0.10	0.02	0.11				3.50	
1307	1322		143	211	15	27			1		3922	
1.21	1.22		0.13	0.19	0.01	0.02			0.00		3.62	
122		34	7	14	1	3					239	
2.12		0.59	0.12	0.24	0.02	0.05					4.16	
			21	17	2	18	12		3	63	598	
			0.18	0.14	0.01	0.16	0.11		1.03	0.56	5.33	

濠洲西方	17— 29S 101—119E	29	9	21.7 4.5		431	166236	761865	1555 0.20	449 0.06
セイロン	0— 18N 69— 90E	16	7	26.3 30.4		341	143531	639435	23273 0.36	2638 0.41
中部印度洋	0— 9S 70— 73E	1	0	28.1 9.2		6	2080	11220	260 2.32	33 0.29
アラビア	0— 13N 55— 71E	10	4	27.1 31.0		182	73350	337074	17217 5.11	3861 1.15
象牙海岸 西　　南	1N— 2S 4W— 0	1	0	27.9 8.8		9	3010	10720	1531	



鮪類水揚価格表（三崎）昭和三十五年一月

4842		53184	447	495	237	223	3	23	161	93	61712
0.64		6.98	0.06	0.06	0.03	0.03	0.00	0.00	0.02	0.01	8.10
2			2946	579	3487	592	1326	2	253	1503	36601
0.00			0.06	0.09	0.55	0.09	0.21	0.00	0.04	0.24	5.72
4			27	3	7	1	10		2	23	370
0.04			0.24	0.03	0.06	0.01	0.09		0.02	0.20	3.30
2			1408	172	874	162	758		453	952	25859
0.00			0.40	0.05	0.26	0.05	0.22		0.13	0.28	7.67
4			5								1540

月別、漁場別、鮪類体長組成表 (1959年3月操業分)

(別表2)

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	50 cm以下	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171 cm以上		計	漁獲尾数
きはだ	2	0—15S 140—120W	3—7S 132—120W	54						5 3.0	43 25.6	45 26.8	25 14.9	16 9.5	18 10.7	11 6.6	5 3.0			168 100	1038
	2	ガラパゴス	3—8S 118—108W	57								3 3.0	1 1.0	13 13.0	16 16.0	33 33.0	31 31.0	3 3.0		100 100	1359
	3	ミッドウェー	24—27N 175—170W	64						5 10.0	1 2.00	2 4.00	5 10.0	14 28.0	18 36.0	4 8.0		1 2.0		50 100	50
	3	ハワイ南西 (5°N以南)	1—5N 180—170W	49				1 0.3	3 1.0	42 13.8	94 30.8	75 24.6	62 20.3	19 6.2	4 1.3	4 1.3		1 0.3		305 100	1695
	14	ハワイ南西 (5°N以北)	5—13N 180—161W	328	3 [illegible]		1 0.6	13 0.8	55 3.5	128 8.1	160 10.1	491 31.1	478 30.3	186 11.8	29 1.8	23 1.5	8 0.5	4 0.3		1579 100	3411
	1	0—15S 160-140W	4—6S 154—148W	25						2 0.9	16 7.0	31 13.5	54 23.5	68 29.6	45 19.6	14 0.1				230 100	962
	1	30—35N 150E—180	29—31N 150—152E	11							1 33.3	2 66.7								3 100	5
	3	伊豆東方	32—35N 142—149E	46				4 8.2	43 87.8	1 2.0		1 2.0								49 100	50
	4	西部太平洋 (170°E以西)	24—31N 151—163E	60					1 3.9	3 11.5	2 7.7	3 11.5	3 11.5	8 30.8	1 3.9	4 15.4		1 3.9		26 100	44
	4	南洋北部 (170°E以西)	10—13N 144—168E	48					8 1.9	83 19.2	77 17.8	80 18.5	132 30.5	45 10.4	7 1.6			1 0.2		433 100	783
	1	南洋北部 (170°E以東)	10—11N 172—179E	15						3 5.8	13 25.0	15 28.9	16 30.8	4 7.7	1 1.9					52 100	98
	15	南洋南部 (170°E以西)	0—11N 141—171E	186			58 2.7	54 2.5	51 2.4	210 9.8	355 16.5	655 30.5	550 25.6	193 9.0	12 0.6	6 0.3	1 0.1	3 0.1		2148 100	4589
	5	南洋南部 (170°E以東)	3—11N 169—179E	64			3 0.7	12 2.7	12 2.9	43 9.6	62 13.8	99 22.1	131 29.2	68 15.1	13 2.9	4 0.9	2 0.5			449 100	1049
	1	ソロモン	0—2S 163—164E	16	1 0.2	9 1.4	49 7.8	19 3.0	36 5.7	109 17.3	107 17.0	124 19.7	102 16.2	42 6.7	2 0.3	15 2.4	13 2.1	2 0.4		630 100	484
	8	濠洲西方	24—27S 101—109E	124									9 4.3	91 43.0	99 45.8	15 7.1				212 100	448

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	60 cm 以下	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181 cm 以上	計	漁獲尾数
	6	セイロン	0—14N 69—87E	179						6 0.7	52 6.4	149 18.3	238 29.2	223 27.4	130 16.0	17 2.0			815 100	12473
	2	アラビア	0—10N 55—71E	52				3 0.1	34 0.6	126 2.4	483 9.1	2461 46.5	1835 34.7	308 5.9	45 0.9	1 0.0			5296 100	5920
	2	0—15S 140—120W	3—8S 130—120W	51				2 0.7	3 1.0	11 3.8	15 5.1	24 8.2	20 6.9	41 14.0	66 22.6	43 14.7	49 16.8	18 6.1	292 100	3268
	3	ガラパゴス	3—8S 118—108W	70					2 0.4	7 1.3	3 0.6	12 2.3	26 5.0	34 6.5	113 21.5	119 22.7	120 22.9	89 17.0	525 100	5713
	3	ミッドウエー	24—27N 178—170W	64		3 0.5	5 0.8	1 0.2	2 0.3	14 2.2	5 0.8	31 4.8	33 5.1	108 16.6	287 44.0	106 16.3	42 6.4	15 2.3	652 100	925
め	3	ハワイ南西 (5°N以南)	0—5N 180—160W	52				6 1.9	25 7.9	32 10.1	56 17.7	80 25.2	52 16.4	28 8.8	22 7.0	6 1.9	7 2.2	3 1.0	317 100	661
	14	ハワイ南西 (5°N以北)	5—13N 180—158W	332		1 0.0	11 0.3	26 0.7	126 3.3	420 10.9	369 9.5	446 11.5	536 13.9	720 18.6	808 20.9	226 5.8	137 3.5	44 1.1	3870 100	10611
	1	0—15S 160—140W	4—6S 154—148W	25					8 8.1	13 13.1	13 13.1	13 13.1	9 9.1	12 12.1	18 18.2	5 5.1	6 6.1	2 2.0	99 100	205
	1	30—35N 150E—180	29—31N 150—152E				9 30.0	3 10.0	5 16.7	1 3.3		2 6.7	3 10.0	4 13.3	1 3.3		2 6.7		30 100	21
	3	伊豆東方	32—35N 142—147E	46			2 2.0	5 5.0	41 40.6	19 18.8	16 15.8	15 14.9	1 1.0		2 2.0				101 100	157
	6	西部太平洋 (170°E以西)	24—31N 150—163E	80		1 0.3	14 3.7	4 1.1	27 7.2	9 2.4	30 8.0	50 13.4	75 20.0	85 22.7	58 15.5	15 4.0	5 1.3	1 0.3	374 100	552
	2	南洋北部 (170°E以西)	10—12N 144—149E	36				1 0.4	2 0.7	21 7.4	32 11.3	51 18.0	95 33.5	52 18.3	22 7.8	2 0.7	3 1.1	3 1.1	284 100	407
ば	2	南洋北部 (170°E以東)	10—12N 172—179E	20					7 3.0	27 11.5	52 22.2	52 22.2	35 15.0	31 13.2	21 9.0	7 3.0	2 0.9		234 100	486
	14	南洋南部 (170°E以西)	2—11N 141—170E	198	2 0.1		1 0.1	5 0.3	48 3.2	154 10.2	178 11.8	373 24.8	455 30.2	198 13.1	70 4.6	11 0.7	9 0.6	3 0.2	1507 100	3592
	4	南洋南部 (170°E以東)	3—11N 169—179E	56		2 0.4			5 1.0	32 6.3	66 12.9	102 20.0	151 29.6	83 16.3	45 8.8	11 2.2	10 2.0	3 0.6	510 100	1154
	1	ソロモン	0—2S 163—164E	16				3 0.8	15 4.2	23 6.5	83 23.3	114 32.0	81 22.8	35 9.8			2 0.6		356 100	280

ち	6	濠洲西方	24—29S 102—109E	98				2 1.5	1 0.7	16 11.9	26 19.3	20 14.8	31 23.0	14 10.4	23 17.0	2 1.5				135 100	155
	6	セイロン	0—18N 69—87E	179				1 0.4	4 1.4	28 9.9	30 10.6	33 11.7	54 19.1	63 22.3	57 20.1	11 3.9	2 0.7			283 100	1365
	2	アラビア	0—10N 55—71E	52			11 0.7	31 2.0	107 7.0	182 11.9	151 9.9	192 12.5	204 13.3	317 14.1	252 16.4	145 9.4	36 2.3	8 0.5		1536 100	1395

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	40cm以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121cm以上	計	漁獲尾数
びんなが	4	ハワイ南西(5°N以北)	5—13N 180—158W	98						1 2.3	1 2.3	23 53.5	16 37.2	2 4.7	43 100	
	1	30—35N 150E—180	29—31N 150—152E	11			1 0.8	4 3.1	38 29.2	77 59.2	10 7.7				130 100	373
	3	伊豆東方	31—35N 140—147E	37			37 29.8	13 10.5	69 55.7	4 3.2		1 0.8			124 100	188
	4	西部太平洋(170°E以西)	24—31N 151—163E	60				3 0.8	12 3.2	208 54.6	29 7.6	91 23.9	36 9.5	2 0.5	381 100	1576
	1	南洋北部(170°E以西)	10—11N 145—149E	18					4 80.0		1 20.0				5 100	5
	3	南洋南部(170°E以西)	0—11N 151—170E	39						4 12.1	7 21.2	15 45.5	7 21.2		33 100	34
	1	ソロモン	0—2S 163—164E	16							2 66.7	1 33.3			3 100	4
	1	濠洲西方	25—26S 106—109E	9							6 100				6 100	21

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	120cm以下	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241cm以上	計	漁獲尾数
いんど鮪	9	濠洲西方	24—28S 101—109E	149	3 0.1	45 0.8	1040 19.6	2531 47.7	1335 25.1	332 6.3	16 0.3	2 0.0							5304 99.1	16872

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	計	漁獲尾数
	1	0—15S 140—120W	3—7S 127—120W	35	2 2.6	3 4.0		3 4.0	10 13.1	17 22.4	14 18.4	2 2.6	8 10.5	8 10.5	5 6.6	2 2.6		2 2.6	76 100	248

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130 cm 以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251 cm 以上	計	漁獲尾数
	2	ガラパゴス	3—8S 118—108W	57		1 1.5	1 1.5	2 3.0	7 10.6	11 16.7	15 22.7	5 7.6	8 12.1	2 3.0	5 7.6	5 7.6	2 3.0	2 3.0	66 100	434
く	3	ミッドウエー	24—27N 178—170W	64							1 5.0	1 5.0	3 15.0	6 30.0	6 30.0	2 10.0	1 5.0		20 100	20
	4	ハワイ南西 (5°N 以南)	0—5N 180—160W	65	2 0.9	13 5.6	27 11.6	46 19.8	70 30.2	19 8.2	15 6.5	6 2.6	17 7.3	5 2.2	2 0.9	6 2.6	3 1.3	1 0.4	232 100	383
	14	ハワイ南西 (5°N 以北)	5—13N 180—158W	303	9 2.1	23 5.5	41 9.7	59 14.0	119 28.3	63 15.0	32 7.6	20 4.8	17 4.0	16 3.8	6 1.4	6 1.4	4 1.0	6 1.4	421 100	724
ろ	1	0—15S 160—140W	4—6S 154—148W	25	2 1.9	3 2.8	6 5.6	13 12.0	32 29.6	20 18.5	9 8.3	3 2.8	6 5.6	7 6.5	1 0.9	3 2.8	3 2.8		108 100	243
	1	サモア	2—3S 172—162W	14	2 3.8	5 9.4	6 11.3	2 3.8	17 32.1	5 9.4	2 3.8	2 3.8	4 7.6	4 7.6	1 1.9	2 3.8		1 1.9	53 100	65
	3	西部太平洋 (170°E以西)	24—27N 160—163E	39		1 2.4	1 2.4	5 12.2	11 26.8	2 4.9	2 4.9	6 14.6	3 7.3	8 19.5		1 2.4		1 2.4	41 100	38
	3	南洋北部 (170°E以西)	10—13N 144—162E	43	4 5.0	19 23.5	23 28.4	13 16.1	11 13.6	2 2.5	2 2.5		2 2.5	1 1.2	4 5.0				81 100	128
か	1	南洋南部 (170°E以東)	10—11N 172—179E	15	3 7.3	5 12.2	1 2.4	3 7.3	13 31.7	2 4.9	3 7.3	4 9.8	5 12.2			1 2.4	1 2.4		41 100	55
	16	南洋南部 (170°E以西)	2—11N 141—170E	224	16 2.6	69 11.3	128 21.0	115 18.9	149 24.4	42 6.9	24 3.9	17 2.8	15 2.5	13 2.1	6 1.0	8 1.3	3 0.5	5 0.8	610 100	852
	4	南洋南部 (170°E以東)	3—11N 169—179E	56	5 1.9	18 6.9	36 13.7	45 17.2	72 27.5	47 18.0	12 4.6	6 2.3	6 2.3	5 1.9	5 1.9	1 0.4	1 0.4	3 1.2	262 100	267
わ	1	ソロモン	0—2S 163—164E	16	7 6.6	8 7.6	18 17.0	30 28.3	27 25.5	5 4.7	3 2.8	3 2.8	2 1.9	1 0.9		1 0.9		1 0.9	106 100	131
	8	濠洲西方	24—28S 102—109E	132	1 0.6	1 0.6		2 1.2	12 7.3	5 3.1	12 7.3	14 8.5	22 13.4	29 17.7	30 18.3	14 8.5	17 10.4	5 3.1	164 100	177
	6	セイロン	0—18N 69—87E	179	5 1.2	16 3.8	15 3.5	37 8.7	95 22.3	78 18.3	46 10.8	33 7.7	30 7.0	40 9.4	19 4.4	8 1.9	1 0.2	4 1.0	427 100	1352
	3	アラビア	0—10N 55—71E	79			6 1.6	23 6.2	69 18.6	68 18.3	54 14.5	22 5.9	29 7.8	26 7.0	31 8.3	18 4.9	11 3.0	15 4.0	372 100	475

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130 cm 以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251 cm 以上	計	漁獲尾数
	1	0—15S 140—120W	3—7S 127—120W	35						1 25.0	1 25.0			1 25.0		1 25.0			4 100	7

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数													計	漁獲尾数
	1	ガラパゴス	3—6S 112—108W	25										2 66.7	1 33.3		3 100	9
し	2	ミッドウェー	22—26N 178—161W	20		1 50.0						1 50.0					2 100	2
	4	ハワイ南西 (5°N以南)	0—5N 180—160W	65		3 11.5	3 11.5	3 11.5	2 7.7	5 19.2	2 7.7	2 7.7	1 3.9		2 7.7	3 11.5	26 100	21
	12	ハワイ南西 (5°N以北)	5—13N 180—158W	249	1 3.5		3 10.3		4 13.8	4 13.8	2 6.9	1 3.5	4 13.8	2 6.9	2 6.9	6 20.7	29 100	41
ろ	1	0—15S 160—140W	4—6S 154—148W	25		1 16.7	1 16.7									4 66.9	6 100	10
	1	サモア	2—3S 172—162W	14			1 20.0	1 20.0					1 20.0		2 40.0		5 100	3
	1	西部太平洋 (170°E以西)	24—27N 160—163E	14				1 100									1 100	1
か	1	南洋北部 (170°E以西)	10—13N 161—162E	7										1 100			1 100	1
	6	南洋南部 (170°E以西)	3—10N 141—169E	73		3 30.0		1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 100				1 10.0		10 100	9
わ	3	南洋南部 (170°E以東)	3—8N 172—179E	40				1 12.5	2 25.0	1 12.5					2 25.0	2 25.0	8 100	5
	8	濠洲西方	24—28S 102—109E	132	8 4.7	16 9.3	10 5.8	7 4.1	32 18.6	24 14.0	20 11.6	21 12.2	17 9.9	5 2.9	1 0.6	11 6.4	172 100	182
	6	セイロン	0—18N 69—87E	179	6 5.7	20 18.9	6 5.7	12 11.3	13 12.3	17 16.0	15 14.2	6 5.7	6 5.7	3 2.8		2 1.9	106 100	343
	3	アラビア	0—10N 55—71E	79	1 3.0	1 3.0	1 3.0	7 21.2	4 12.1	4 12.1	1 3.0	3 9.1	3 9.1	3 9.1	1 3.0	4 12.1	33 100	57

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	100 cm 以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221 cm 以上	計	漁獲尾数
	1	0—15S 140—120W	5—7S 132—128W	19						2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7						6 100	8
	3	ガラパゴス	3—8S 118—108W	70		1 1.5		2 3.0	20 30.8	7 14.8	17 26.1	12 18.5	5 7.7	1 1.5					65 100	167
ま	5	ミッドウェー	21—27N 178—160W	81		2 0.9	15 6.8	79 35.6	89 40.1	21 9.5	11 5.0	4 1.8	1 0.5						222 100	246

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	80 cm 以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201 cm 以上	計	漁獲尾数
かじき	1	ハワイ南西 (5°N 以南)	2—4N 175—170W	18		1 20.0	3 60.0					1 20.0							5 100	4
		ハワイ南西 (5°N 以北)	5—13N 180—158W	274	5 4.3	13 11.2	31 26.7	11 9.5	11 9.5	23 19.8	17 14.7	4 3.5		1 0.9					116 100	152
	1	0—15S 160—140W	4—6S 154—148W	25								1 100							1 100	2
	1	30—35N 150—180W	29—31N 150—152E	11				3 30.0	5 50.0	2 20.0									10 100	8
	1	伊豆東方	33—34N 148—150E	8					1 50.0		1 50.0								2 100	2
	5	西部太平洋 (170°E以西)	24—31N 151—163E	71			20 10.1	75 37.7	62 31.2	34 17.1	8 4.0								199 100	184
	2	南洋北部 (170°E以西)	10—13N 161—168E	12	1 3.9	5 19.2	12 46.2	4 15.4	2 7.7	1 3.9					1 3.9				26 100	52
	3	南洋北部 (170°E以東)	10—12N 172—178E	26	1 4.4	3 13.0	5 21.7	2 8.7	1 4.4	5 21.7	4 17.4	1 4.4	1 4.4						23 100	15
	13	南洋南部 (170°E以西)	2—11N 141—169E	176	5 4.1	11 9.1	52 43.0	28 23.1	16 13.2	6 5.0	2 1.7	1 0.8							121 100	208
	3	南洋南部 (170°E以東)	3—8N 172—179E	40		1 16.7	1 16.7			1 16.7	2 33.3	1 16.7							6 100	5
	1	ソロモン	0—2S 163—164E	16										2 100					2 100	1
	9	濠洲西方	24—28S 101—109E	149			1 1.6	22 34.4	25 39.1	5 7.8	7 11.0	3 4.7	1 1.6						64 100	79
	7	セイロン	0—18N 69—87E	195			1 0.2	19 4.2	121 26.8	213 47.1	88 19.5	7 1.6	3 0.7						452 100	2078
	3	アラビア	0—10N 55—71E	79			2 0.8	11 4.6	13 5.4	25 10.3	47 19.4	47 19.4	42 17.4	45 18.6	8 3.3	2 0.8			242 100	297
め	5	ミッドウェー	21—27N 178—160W	81	8 7.0	6 5.3	3 2.6		3 2.6	8 7.0	1 0.9		2 1.8	2 1.8	6 5.3	5 4.4	15 13.1	55 48.3	114 100	109
	3	ハワイ南西 (5°N 以南)	1—5N 180—170W	49								1 5.9	3 17.7	2 11.8	3 17.7		3 17.7	5 29.4	17 100	17

	11	ハワイ南西 (5°N以北)	5— 13N 180—158W	248	2 4.8	3 7.1				1 2.4			5 11.9	3 7.1	2 4.8	5 11.9	5 11.9	16 38.1		42 100	56
か	1	0— 15S 160—140W	4— 6S 154—148W	25								1 50.0			1 50.0					2 100	3
	2	サ モ ア	0— 5S 176—161W	29						1 2.9	5 14.3	1 2.9	4 11.4	3 8.6	8 22.9	5 14.3	3 8.6	5 14.3		35 100	20
	3	伊 豆 東 方	32— 35N 142—147E	46	1 1.1	3 3.2	9 9.5	9 9.5	9 9.5	11 11.6	2 2.1	2 2.1	14 14.7	5 5.3	9 9.5	10 10.5	7 7.4	4 4.2		95 100	139
	4	西部太平洋 (170°E以西)	24— 31N 151—163E	57		1 3.1	2 6.3	2 6.3	2 6.3	2 6.3		2 6.3	3 9.4	2 6.3	3 9.4	3 9.4	2 6.3	8 25.0		32 100	32
じ	1	南洋北部 (170°E以西)	10— 11N 145—149E	18	3 25.0	1 8.3		2 16.7		1 8.3	1 8.3			1 8.3				3 25.0		12 100	12
	4	南洋南部 (170°E以西)	4— 11N 159—169E	52	3 21.4	2 14.3					2 14.3		3 21.4	1 7.1	1 7.1		1 7.1	1 7.1		14 100	10
	3	南洋南部 (170°E以東)	3— 8N 172—179E	40						1 11.1					1 11.1	2 22.2	1 11.1	4 44.4		9 100	8
	1	ソ ロ モ ン	0— 2S 163—164E	16									2 28.6			1 14.3		4 57.1		7 100	5
き	4	濠 洲 西 方	24— 27S 105—109E	49							3 7.1		4 9.5	3 7.1	5 11.9	6 14.3	7 16.7	14 33.3		42 100	42
	2	セ イ ロ ン	2— 12N 70— 85E	71						2 3.2	5 8.0	2 3.2	6 9.5	5 8.0	3 4.8	14 22.2	8 12.7	18 28.6		63 100	105
	2	ア ラ ビ ア	2— 13N 56— 71E	45	6 9.2	3 4.6	1 1.5	1 1.5	4 6.2	12 18.5	5 7.7	5 7.7	6 9.2	3 4.6	3 4.6	5 7.7	7 10.8	4 6.2		65 100	69

月別、漁場別、鮪類漁獲調査表

漁場	操業区域	調査隻数	体長測定船数	水温 (C°)	流向 流速	操業回数	漁具数	鈎数	きはだ	ま めばち
ガラパゴス	5— 8S 115—107W	1	1	25.8 8.4		38	16720	66880	282 0.42	2409 3.60
ミッドウェー	22— 28N 173—165W	27	10	20.0 5.9		490	163549	708259	1574 0.22	12415 1.75
ハワイ南西 (5°N以北)	5— 11N 180—166W	5	4	26.4 8.7		78	27774	116896	1394 1.19	2376 2.03
ハワイ南西 (5°N以南)	0— 5N 180—159W	11	8	27.1 9.9		154	60484	276410	12662 4.58	2051 0.74
サモア	0— 5S 179—172W	3	2	27.6 9.4		25	9740	45990	734 1.60	257 0.56
30— 35N 150E—180	31— 33N 149—151E	1	1	18.1 9.0		9	2700	10800	4 0.04	17 0.16
伊豆東方	30— 35N 141—148E	3	0	17.1 20.0		27	5455	35720	26 0.07	67 0.19
南海	30— 35N 136—140E	46	8	16.0 22.9		314	52049	261956	766 0.29	388 0.15
西部太平洋 (170°E以西)	22— 31N 140—159E	10	6	18.5 25.7		103	31068	153441	175 0.11	238 0.16
西部太平洋 (170°E以東)	28— 30N 173—175E	1	0	18.9 22.2		25	11439	45756		56 0.12
南洋北部 (170°E以西)	9— 12N 144—171E	19	8	26.6 8.4		203	67840	330277	3704 1.12	2467 0.75
南洋北部 (170°E以東)	10— 12N 170—180E	7	0	26.3 7.7		67	23600	102324	609 0.60	1867 1.83
南洋南部 (170°E以西)	1S— 11N 136—171E	52	26	26.8 30.0		595	203281	961891	11942 1.24	7484 0.78
南洋南部 (170°E以東)	0— 10N 180—169W	17	5	26.8 9.5		226	83174	346482	5562 1.61	4537 1.31
フイリピン東海	4— 20N 122—128E	17	2	25.0 8.7		194	55469	258732	4077 1.58	896 0.35
セレベス	0— 3N 124—125E	1	0	27.9 9.4		6	1960	7840	178 2.27	36 0.46
ソロモン	0— 15S 151—174E	17	7	27.2 30.5		257	95179	448083	1927 0.43	2509 0.56
バンダフロレス	4— 6S 124—127E	1	0	28.2 9.0		5	2000	9500	261 2.75	90 0.95
小スンダチモール	9— 15S 114—130E	11	3	27.0 30.6		154	59979	270831	2965 1.09	990 0.37
ジヤワ沿海	10— 14S 104—108E	4	0	27.4 9.6		18	7308	24927	140 0.56	237 0.95
スマトラ西岸	6N— 11S 90—105E	8	1	28.5 30.0		38	15270	72990	1726 2.36	419 0.57
濠洲西方	10— 29S 97—119E	20	6	21.0 30.2		229	33695	515240	1416 0.27	494 0.10

(1959年4月操業分)

(別表1)

ぐろ			かじき					かつお	雑	さめ	計	記事
びんなが	くろ鮪	いんど鮪	くろかわ	しろかわ	まかじき	めかじき	ばしょう					
265			254	15	95	6					3326	
0.40			0.38	0.02	0.14	0.01					4.97	
27			297	18	2210	1028			274	118	17961	
0.00			0.04	0.00	0.31	0 15			0.04	0.02	2.54	
56			324	6	17	8	47				4228	
1.15			0.28	0.01	0.01	0.01	0.07				3.62	
691			747	51	29	64	39		177	212	16723	
0.25			0.27	0.02	0.01	0.02	0.01		0.06	0.08	6.04	
154			147	8	2	5					1307	
0.33			0.32	0.02	0.00	0.01					2.84	
30					2	39			1	249	342	
0.28					0.02	0.36			0.01	2.31	3.17	
218	2				35	76			3	325	752	
0.61	0.01				0.10	0.21			0.01	0.91	2.11	
600	935		12		154	39		4	111	561	3570	
0.23	0.36		0.01		0.06	0.01		0.00	0.14	0.21	1.36	
66	3		23		409	595		80	296	1727	3612	
0.04	0.00		0.02		0.27	0.39		0.05	0.19	1.13	2.36	
73	21			1	10	506			40	6	713	
0.16	0.05			0.0	0.02	1.11			0.08	0.01	1.55	
132			903	25	117	13	381	40	746	386	8915	
0.04			0.27	0.01	0.04	0.00	0.12	0.01	0.23	0.12.	2.71	
87			223	4	9	2	23		63	96	2983	
0.09			0.22	0.0	0.01	0.00	0.02		0.06	0.09	2.92	
324	4		2965	47	45	68	2468	777	1196	1699	28837	
0.03	0.00		0.31	0.00	0.00	0.01	0.26	0.08	0.12	0.18	3.00	
92			1180	23	14	31	173		134	359	12105	
0.03			0.34	0.01	0.00	0.01	0.05		0.04	0.10	3.50	
106	34		263	7	181	56	153	45	728	226	6770	
0.04	0.01		0.10	0.00	0.07	0.02	0.06	0.02	0.28	0.09	2.62	
			7	7			11				239	
			0.09	0.09			0.14				3.05	
4395	6		1750	259	16	45	1895	101	211	1086	19638	
0.98	0.00		0.39	0.06	0.00	0.01	0.42	0.02	0.05	0.24	2.16	
			6	9	2	3					371	
			0.06	0.09	0.02	0.03					3.91	
6880		665	208	696	71	65	145	10	16	20	12731	
2.54		0.25	0.08	0.26	0.03	0.02	0.05	0.00	0.01	0.01	4.70	
560		5	55	54	9	1					1249	
2.25		0.02	0.22	0.22	0.04	0.00					5.01	
510			140	55	35	16	43		12	84	3040	
0 70			0.19	0.08	0.05	0.02	0.06		0.02	0.12	4.17	
3616		11563	246	400	94	124	71		17		17641	
0.70		2.24	0.05	0.08	0.02	0.02	0.01		0.00		3.42	

セイロン	1S— 18N 70— 91E	16	5	27.1 30.7	232	94051	438758	12006 2.74	3955 0.90
中部印度洋	0— 7S 70— 90E	9	0	28.4 9.8	67	27169	131371	4927 3.75	943 0.72
アラビア	1S— 9N 53— 70E	10	1	28.5 30.9	144	58827	272780	15796 5.79	3030 1.11
西部印度洋	1N— 20S 53— 69E	5	2	26.0 30.8	68	28682	133700	6804 5.09	785 0.59

『かなやま』の『さつま』に代る新漁具

鮪延縄用SKスリーブ及びプレッサー

本品は手軽に締めつけが出来て誰でも出来不出来がありません。その上製作に時間と労力を要せず強度も一定で革命的のものであります。東京水産大学練習船海鷹丸では夙に使用されていて実用上その耐久力強度については充分に立証されております。

須　田　製　作　所

営業所　東京都中央区銀座東6—4 日交ビル　電話 (541) 3904—7
工　場　月島第一　月島第二　板橋

64 6.01			1003 0.23	314 0.07	1899 0.43	381 0.09	523 0.12				21827 4.97	
384 0.29			351 0.27	73 0.06	191 0.15	19 0.01	57 0.04	11 0.01	21 0.02	147 0.11	7124 5.42	
119 0.04			847 0.31	101 0.04	182 0.07	138 0.05	132 0.05	500 0.18	81 0.03		21387 7.84	
922 0.69			260 0.19	78 0.06	460 0.34	28 0.02	304 0.23	17 0.01	191 0.14	230 0.17	10559 7.90	

縄成りと漁獲率の最も優れた…………

特許 海 光 延 縄 （ビニール被覆鉛心入）

更に改良を加え、優秀な製品を安価に製造販賣致しておりますから
宜しく御採用の程をお願い申上げます

株式会社 海光社水産研究所

代表者 林 壽

本 社 東京都新宿区神樂坂2の16 電話(331)2090
工 場 愛知県寶飯郡形原町

月別、漁場別、鮪類体長組成表 (1959年4月操業分)

（別表 2）

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	50 cm 以下	51 —60	61 —70	71 —80	81 —90	91 — 100	101 — 110	111 — 120	121 — 130	131 — 140	141 — 150	151 — 160	161 — 170	171 cm 以上		計	漁獲尾数
きはだ	1	ガラパゴス	5— 8S 115—107W	38							5 4.2	10 8.5	52 44.1	18 15.3	13 11.0	15 12.7	5 4.2			118 100	282
	9	ミッドウエー	22— 27N 178—162W	167			1 0.2	14 3.2	30 6.9	17 3.9	7 1.6	10 2.3	34 7.8	178 40.6	58 13.2	51 11.6	19 4.0	19 4.3		438 100	519
	4	ハワイ南西 (5°N以北)	5— 11N 180—166W	62			2 0.3	11 1.9	20 3.4	26 4.4	55 9.4	178 30.4	218 37.2	70 12.0	4 0.7	1 0.2	1 0.2			586 100	1246
	7	ハワイ南西 (5°N以南)	2— 5N 180—159W	119				3 0.1	33 1.2	223 8.3	739 27.6	1218 45.6	316 11.8	111 4.2	23 0.9	5 0.2	2 0.1	1 0.0		2674 100	10389
	1	サモア	0— 2S 179—176W	18						20 6.5	83 27.0	88 28.6	61 19.8	42 13.6	13 4.2		1 0.3			308 100	591
	7	南海々区	32— 34N 136—140E	65				4 3.0	11 8.3	13 9.8	2 1.5	7 5.3	27 20.3	31 23.3	23 17.3	12 9.0	2 1.5	1 0.8		133 100	132
	4	西部太平洋 (170°E以西)	22— 31N 140—148E	38					12 9.8	30 24.4	13 10.6	13 10.6	36 29.3	13 10.6	5 4.1	1 0.8				123 100	122
	6	南洋北部 (170°E以西)	9— 11N 144—170E	83		1 0.1	27 2.1	32 2.5	65 5.1	223 17.6	278 21.9	187 14.7	320 25.2	124 9.8	8 0.6	2 0.2	1 0.1			1268 100	1815
	16	南洋南部 (170°E以西)	1— 11N 136—171E	248		1 0.0	30 1.0	190 6.5	414 14.2	625 21.4	350 12.0	457 15.6	605 20.7	222 7.6	27 0.9	1 0.0	4 0.1			2926 100	5484
	3	南洋南部 (170°E以東)	2— 9N 175E—179W	64			1 0.3		6 1.7	8 2.3	24 6.9	96 27.5	148 42.4	56 16.1	6 1.7	4 1.2				349 100	2270
	2	フイリピン 東海	15— 19N 125—128E	29				1 0.4	16 6.8	25 10.6	1 0.4	10 4.2	139 58.7	40 16.9	4 1.7		1 0.4			237 100	360
	5	ソロモン	1— 7S 154—171E	81		10 1.2	20 2.3	17 2.0	41 4.7	212 24.3	181 20.6	143 16.4	164 18.8	73 8.4	10 1.2		1 0.1			872 100	1955
	2	小スンダ チモール	9— 15S 115—122E	20					4 1.7	49 20.9	29 12.3	18 7.7	55 23.4	52 22.1	21 8.9	7 3.0				235 100	308
	1	スマトラ 西岸	9— 11S 103—105E	4				10 5.7	18 10.2	22 12.5	3 1.7	11 6.3	34 19.3	38 21.6	36 20.5	4 2.3				176 100	105
	1	濠洲西方	25— 26S 105—106E	12										5 38.5	8 61.5					13 100	54

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	60 cm以下	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181 cm以上	計	漁獲尾数
	4	セイロン	1S—19N 80—89E	107						1 0.5	1 0.5	7 3.3	105 49.1	59 27.6	35 16.4	6 2.8			214 100	6272
	1	アラビア	3—8N 53—70E	32					1 0.4		6 2.2	44 16.1	138 50.6	62 22.7	22 8.1				273 100	2776
	2	西部印度洋	1N—3S 53—69E	34				58 1.0	103 1.7	99 1.7	153 2.6	765 12.8	3293 55.0	1116 18.6	338 5.6	64 1.1	3 0.1		5992 100	4601
めばち	1	ガラパゴス	5—8S 115—107W	38				1 1.1	1 1.1	2 2.1	1 1.1	5 5.3	12 12.6	12 12.6	22 23.1	23 24.2	11 11.6	5 5.3	95 100	2409
	10	ミッドウエー	22—27N 178—162W	190	2 0.1	1 0.0	4 0.2	4 0.2	8 0.4	22 1.0	15 0.7	78 3.4	218 9.6	423 18.6	968 42.5	328 14.4	185 8.1	22 1.0	2278 100	5191
	3	ハワイ南西 (5°N以北)	6—11N 180—166W	56			2 0.4		12 2.6	46 9.9	48 10.3	69 14.8	70 15.0	63 13.5	89 19.1	41 8.8	22 4.7	5 1.1	467 100	1785
	5	ハワイ南西 (5°N以南)	2—5N 180—159W	78			1 0.3	7 1.8	41 10.7	68 17.7	62 16.1	72 18.7	83 21.6	24 6.2	17 4.4	7 1.8	3 0.8		385 100	991
	1	サモア	0—2S 179—176W	18				2 2.0	16 15.8	9 8.9	14 13.9	21 20.8	20 19.8	18 17.8			1 1.0		101 100	233
	1	30—35N 150E—180	31—33N 149—151E	9				1 3.7	13 48.2	1 3.7	4 14.8	5 18.5	1 3.7		2 7.4				27 100	17
	7	南海々区	32—34N 136—140E	70		1 1.5	7 10.1	4 5.8	8 11.6	5 7.2	12 17.4	16 23.2	5 7.2	6 8.7	2 2.9	3 4.4			69 100	84
	3	西部太平洋 (170°E以西)	24—31N 140—148E	45			5 6.7	1 1.3	7 9.3	10 13.3	7 9.3	15 20.0	10 13.3	9 12.0	6 8.0	4 5.3	1 1.3		75 100	80
	6	南洋北部 (170°E以西)	9—11N 144—170E	83	1 0.1	4 0.5	3 0.4	3 0.4	6 0.8	68 9.0	71 9.4	163 21.5	210 27.7	150 19.8	62 8.2	13 1.7	4 0.5		758 100	1042
	20	南洋南部 (170°E以西)	1—11N 136—171E	294	2 0.1	4 0.2	14 0.5	18 0.7	75 2.9	338 13.0	328 12.6	566 21.7	619 23.7	392 15.6	192 7.4	47 1.8	11 0.4	4 0.2	2610 100	4020
	3	南洋南部 (170°E以東)	5—9N 170E—179W	53			1 0.2	1 0.2	9 1.5	48 7.7	106 17.1	121 19.5	141 22.7	83 13.4	62 10.0	24 3.9	17 2.7	7 1.1	620 100	1212
	2	フイリピン東海	15—19N 125—128E	29		1 1.0		1 1.0	23 23.7	20 20.6	22 22.7	19 19.6	8 8.3	2 2.1		1 1.0			97 100	98
	6	ソロモン	1—7S 153—171E	94		2 0.4	2 0.4	8 1.6	47 9.2	83 16.2	115 22.4	142 27.7	81 15.8	20 3.9	12 2.3	1 0.2			513 100	1065

ち	2	小スンダ チモール	9—15S 115—122E	27					3 7.3	8 19.5	6 14.6	10 24.4	13 31.7		1 2.4					41 100	504
	1	スマトラ西岸	9—11S 103—105E	4	1 1.4	1 1.4	2 2.7	3 4.1	6 8.1	7 9.5	5 6.8	10 13.5	19 25.7	11 14.9	8 10.8	1 1.4				74 100	42
	2	濠洲西方	15—26S 105—114E	21						14 23.7	9 15.3	17 28.8	13 22.0	6 10.2						59 100	49
	4	セイロン	1S—19N 80—89E	107				1 0.5	5 2.7	33 17.9	27 14.7	22 12.0	20 10.9	21 11.4	41 22.3	12 6.5	2 1.1			184 100	2087
	1	アラビア	3—8N 53—70E	32					12 5.2	42 18.2	26 11.3	28 12.1	52 22.5	33 14.3	29 12.6	5 2.2	4 1.7			231 100	599
	1	西部印度洋	0—3S 53—65E	22			21 3.3	17 2.7	35 5.6	64 10.2	80 12.7	82 13.1	116 18.5	111 17.7	85 13.5	17 2.7				628 100	338

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	40 cm 以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121 cm 以上						計	漁獲尾数
び	3	ミッドウエー	22—27N 173—162W	62								3 50.0	3 50.0							6 100	6
	1	サモア	0—4S 179—176W	5						7 21.9	22 68.8	3 9.4								32 100	29
	1	30—35N 150E—180	31—33N 149—151E	9			5 29.4	4 23.5	8 47.1											17 100	30
	5	南海々区	32—34N 136—140E	49					118 71.1	31 18.7	15 9.0	2 1.2								166 100	168
ん	2	西部太平洋 (170°E以西)	25—30N 140—145E	29					11 45.8	12 50.0	1 4.2									24 100	54
	3	南洋北部 (170°E以西)	9—11N 147—170E	33							8 18.6	27 62.8	8 18.6							43 100	53
	7	南洋南部 (170°E以西)	2—11N 153—165E	97						17 23.0	26 35.1	24 32.4	7 9.5							74 100	184
	1	南洋南部 (170°E以東)	6—8N 175—177E	15							1 12.5	3 37.5	4 50.0							8 100	4
な	1	フイリピン東海	15—19N 126—128E	22							3 33.3	5 55.6	1 11.1							9 100	9
	1	ソロモン	2—6S 161—164E	18						44 35.5	72 58.1	8 6.5								124 100	115

か	1	小スンダ チモール	9—14S 117—122E	9						3 2.1	78 54.9	61 43.0								142 100	360
	1	スマトラ 西岸	9—11S 103—105E	4						9 2.3	328 83.8	54 13.7	3 0.8							394 100	206
	1	濠洲西方	25—26S 105—106E	12						1 8.3	11 91.7									12 100	34

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	120 cm 以下	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241 cm 以上		計	漁獲尾数
いどん鮪	6	濠洲西方	15—27S 101—114E	57	1 0.1	2 0.3	15 2.0	174 22.8	338 44.2	180 23.6	42 5.5	9 1.2	3 0.4							764 100	3531

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130 cm 以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251 cm 以上		計	漁獲尾数
	1	ガラパゴス	5—8S 115—107W	38		2 6.9			4 13.8	2 6.9	8 27.6	2 6.9	3 10.3	2 6.9	2 6.9	1 3.5	2 6.9	1 3.5		29 100	254
	9	ミッドウエー	22—27N 164—173W	172				1 1.4		3 4.2	1 1.4	2 2.8	6 8.3	24 33.3	8 11.1	14 19.4	6 8.3	7 9.7		72 100	84
く	3	ハワイ南西(5°N以北)	6—11N 180—166W	56	2 1.7	7 5.9	15 12.6	19 16.0	32 26.9	17 14.3	11 9.2	3 2.5	6 5.0	1 0.8	4 3.4	1 0.8		1 0.8		119 100	247
	5	ハワイ南西(5°N以南)	2—5N 180—159W	88	7 2.8	13 5.2	22 8.8	42 16.7	89 35.5	23 9.2	12 4.8	21 8.4	13 5.2	2 0.8	2 0.8	3 1.2		2 0.8		251 100	451
	1	サモア	0—2S 179—176W	18	3 4.3	6 8.6	12 17.1	20 28.6	19 27.1	3 4.3	3 4.3		1 1.4			2 2.9	1 1.4			70 100	118
	1	南海々区	33—34N 138—139E	13				1 100												1 100	1
ろ	2	西部太平洋(170°E以西)	25—36N 140—145E	29					2 40.0			2 40.0		1 20.0						5 100	5
	5	南洋北部(170°E以西)	10—11N 144—170E	72	15 3.8	43 11.0	64 16.4	77 19.7	106 27.1	32 8.2	14 3.6	9 2.3	9 2.3	14 3.6	2 0.5	4 1.0	2 0.5			391 100	328
	18	南洋南部(170°E以西)	1—11N 136—171E	274	41 3.4	121 9.9	252 20.7	288 23.6	309 25.3	78 6.4	34 2.8	17 1.4	30 2.5	20 1.6	15 1.2	4 0.3	4 0.3	7 0.6		1220 100	1562
か	5	南洋南部(170°E以東)	2—10N 169E—178W	88		14 4.7	13 4.4	36 12.2	107 36.2	50 16.9	21 7.1	11 3.7	15 5.1	10 3.4	6 2.0	5 1.7	3 1.0	4 1.4		296 100	434
	2	フイリピン東海	15—19N 125—128E	29			5 19.2	10 38.5	9 34.6				2 7.7							26 100	27

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130 cm 以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251 cm 以上	計	漁獲尾数
わ	5	ソロモン	1—7S 154—171E	86	20 3.8	47 8.9	115 21.8	140 26.6	115 21.8	36 6.8	11 2.1	15 2.9	12 2.3	4 0.8	5 1.0	2 0.4	2 0.4	3 0.6	527 100	640
	2	小スンダ・チモール	9—15S 115—122E	27			4 7.6	2 3.8	12 22.6	14 26.4	6 11.3	3 5.7	3 5.7	3 5.7	2 3.8	2 3.8		2 3.8	53 100	51
	2	濠洲西方	15—26S 105—114E	21		1 3.5		4 13.8	3 10.3	7 24.1	2 6.9	2 6.9	3 10.3		3 10.3	2 6.9		2 6.9	29 100	32
	5	セイロン	1S—19N 80—89E	122		3 1.7	8 4.6	21 12.1	50 28.7	34 19.5	20 11.5	10 5.8	10 5.8	11 6.3	1 0.6	3 1.7	1 0.6	2 1.2	174 100	478
	1	アラビヤ	3—8N 53—70E	32		1 1.2	3 3.6	9 10.7	24 28.6	10 11.9	12 14.3	5 6.0	7 8.3	7 8.3	4 4.8		1 1.2	1 1.2	84 100	239
	1	西部印度洋	0—3S 53—65E	22	1 0.6	1 0.6	11 6.0	22 12.1	29 15.9	45 24.7	23 12.6	13 7.1	10 5.5	8 4.4	6 3.3	6 3.3	3 1.7	4 2.2	182 100	107
	1	ガラパゴス	5—8S 115—107W	38							1 33.3	2 66.7							3 100	15
し	3	ミッドウエー	22—27N 175—163W	64						1 16.7				1 16.7			2 33.3	2 33.3	6 100	5
	2	ハワイ南西(5°N以北)	6—11N 180—176W	38				2 40.0		1 20.0			2 40.0						5 100	5
	7	ハワイ南西(5°N以南)	2—5N 180—159W	115		1 2.3	3 7.0	1 2.3	4 9.3	2 4.7	6 14.0	1 2.3	8 18.6	4 9.3	1 2.3	1 2.3	1 2.3	10 23.3	43 100	38
	1	サモア	0—2S 179—176W	18				1 11.1	2 22.2	3 33.3	1 11.1				1 11.1	1 11.1			9 100	6
ろ	1	南洋北部(170°E以西)	10—11N 161—170E	16				2 28.6		1 14.3		1 14.3			1 14.3			2 28.6	7 100	5
	8	南洋南部(170°E以西)	1—10N 136—170E	116			2 11.8	2 11.8	2 11.8	5 29.4	1 5.9	1 5.9		1 5.9		1 5.9		2 11.8	17 100	21
	1	南洋南部(170°E以東)	5—10N 175E—179W	36						1 33.3			1 33.3			1 33.3			3 100	3
か	4	ソロモン	1—6S 161—171E	67	2 4.7	9 20.9	7 16.3	12 27.9	3 7.0	4 9.3		4 9.3	2 4.7						43 100	46
	2	小スンダ・チモール	9—15S 115—122E	27	9 4.7	28 14.6	41 21.4	29 15.1	18 9.4	9 4.7	18 9.4	10 5.2	10 5.2	9 .47	8 4.2	3 1.6			192 100	126

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	100 cm以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221 cm以上	計	漁獲尾数
わ	3	濠洲西方	15—26S 101—114E	29	3 2.9	12 11.8	11 10.8	9 8.8	10 9.8	9 8.8	14 13.7	11 10.8	9 8.8	6 5.9	3 2.9	3 2.9		2 2.0	102 100	55
	5	セイロン	1S—19N 80—89E	122		2 2.0	8 8.2	14 14.3	7 7.1	13 13.3	13 13.3	14 14.3	8 8.2	10 10.2	2 2.0	3 3.1	1 1.0	3 3.1	98 100	148
	1	アラビヤ	3—8N 53—70E	32				1 20.0				1 20.0		1 20.0			2 40.0		5 100	23
	1	西部印度洋	0—3S 53—65E	22				2 4.7	4 9.3	3 7.0	5 11.6	6 14.0	11 25.6	4 9.3	4 9.3			4 9.3	43 100	26
まかじ	1	ガラパゴス	5—8S 115—107W	38						3 17.7	5 29.4	6 35.3	2 11.8	1 5.9					17 100	95
	8	ミッドウェー	22—27N 178—162W	149		12 1.7	78 11.2	228 32.8	237 34.1	79 11.4	36 5.2	8 1.2	4 0.6	6 0.9	5 0.7	2 0.3	1 0.1		696 100	730
	2	ハワイ南西(5°N以北)	6—11N 180—166W	40			1 12.5		2 25.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5							8 100	11
	6	ハワイ南西(5°N以南)	2—5N 180—159W	106			1 6.7		1 6.7	1 6.7	5 33.3	1 6.7	3 20.0	3 20.0					15 100	24
	1	サモア	0—2S 179—176W	18						1 50.0	1 50.0								2 100	2
	2	南海海区	32—34N 137—140E	26			1 12.5	1 12.5	3 37.5	2 25.0	1 12.5								8 100	11
	5	西部太平洋(170°E以西)	24—31N 140—156E	55	1 0.4	19 7.3	46 17.6	82 31.3	73 27.9	28 10.7	10 3.8	2 4.8						1 0.4	262 100	164
	8	南洋北部(170°E以西)	9—12N 144—170E	101	1 0.9	23 20.4	41 36.3	20 17.7	11 9.7	7 6.2	2 1.8			6 5.3	1 0.9	1 0.9			113 100	114
	7	南洋南部(170°E以西)	0—11N 143—170E	77	1 4.4	5 21.7	5 21.7	3 13.0	2 8.7	2 8.7	1 4.4	1 4.4		3 13.0					23 100	19
	2	南洋南部(170°E以東)	5—10N 175—180E	26			1 33.3			1 33.3				1 33.3					3 100	2
	2	フイリピン東海	15—19N 125—128E	29			5 17.9	15 53.6	7 25.0	1 3.6									28 100	35
	2	ソロモン	1—7S 154—171E	30		1 50.0						1 50.0							2 100	2

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	80cm以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201cm以上	計	漁獲尾数
	1	小スンダ・チモール	13—15S 115—118E	11		1 16.7		1 16.7	3 50.0	1 16.7									6 100	7
	2	濠洲西方	15—26S 105—114E	21			1 6.3	8 50.0	4 25.0	2 12.5	1 6.3								16 100	13
き	5	セイロン	1S—19N 80—89E	122			4 1.5	16 6.1	98 37.3	125 47.5	19 7.2	1 0.4							263 100	1117
	1	アラビヤ	3—8N 53—70E	32			9 22.0	15 36.6	7 17.1	4 9.8	6 14.6								41 100	73
	2	西部印度洋	1N—3S 53—69E	34			3 0.6	6 1.2	65 13.0	225 45.1	116 23.3	32 6.4	27 5.4	19 3.8	6 1.2				499 100	277
魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	80cm以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201cm以上	計	漁獲尾数
	1	ガラパゴス	5—8S 115—107W	38											1 16.7		1 16.7	4 66.7	6 100	6
	10	ミッドウェー	22—27N 178—162W	183	11 3.5	3 1.0	16 5.1	8 2.5	9 2.8	3 1.0	8 2.5	14 4.4	20 6.3	8 2.5	18 5.7	14 4.4	30 9.5	155 48.9	317 100	496
め	2	ハワイ南西(5°N以北)	6—11N 180—166W	40												1 16.7	1 16.7	4 66.7	6 100	6
	6	ハワイ南西(5°N以南)	2—5N 180—159W	104						5 8.3	7 11.7	1 1.7	5 8.3	4 6.7	7 11.7	8 13.3	10 16.7	13 21.7	60 100	49
	1	サモア	0—2S 179—176W	18							2 40.0	1 20.0	2 40.0						5 100	4
か	1	30—35N 150E—180	31—33N 149—151E	9		2 3.2	3 4.8	4 6.4	6 9.5	12 19.0	1 1.6	1 1.6	7 11.1	4 6.4	5 7.9	8 12.7	3 4.8	7 11.1	63 100	39
	1	南海海区	33—34N 138—139E	13									1 50.0			1 50.0			2 100	1
	3	西部太平洋(170°E以西)	24—31N 140—148E	45	3 1.3	5 2.1	27 11.3	61 25.6	9 3.8	6 2.5	12 5.0	18 7.6	27 11.3	11 4.6	16 6.7	17 7.1	15 6.3	11 4.6	238 100	241
	4	南洋北部(170°E以西)	10—11N 144—170E	66		1 25.0					1 25.0					1 25.0		1 25.0	4 100	6
じ	12	南洋南部(170°E以西)	1—11N 145—168E	159	20 39.2	8 15.7	4 7.8			2 3.9	4 7.8	4 7.8			1 2.0	2 3.9	3 5.9	3 5.9	51 100	41
	2	南洋南部(170°E以東)	5—9N 175E—179W	40					1 20.0								1 20.0	3 60.0	5 100	6

き	2	フイリピン東海	15—19N 125—128E	29			2 18.2				1 9.1		1 9.1	1 9.1	1 9.1	2 18.2		3 27.3	11 100	11
	5	ソロモン	1—16S 154—171E	80		1 5.0					3 15.0	3 15.0	6 30.0		1 5.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0	20 100	20
	2	濠洲西方	15—26S 101—114E	17						2 9.1	3 13.6		4 18.2	1 4.6	2 9.1		1 4.6	9 40.9	22 100	11
	2	セイロン	1S—15N 80—88E	46							1 11.1	1 11.1	2 22.2	2 22.2			1 11.1	2 22.2	9 100	47
	1	アラビア	3—8N 53—70E	32						1 4.0			4 16.0	2 8.0	4 16.0	9 36.0	1 4.0	4 16.0	25 100	25
	1	西部印度洋	0—3S 53—65E	22	1 4.6	1 4.6	1 4.6		3 13.6	5 22.7	4 18.2	4 18.2	3 13.6						22 100	10

マグロ漁況概況豫報　（1960年3月）

神奈川県水試　漁業指導科

東部太平洋第2漁場（5°—20°N, 150°W以東）

この海区の漁場は主として北緯5°から10°までで、キハダは依然不漁期で漁獲0.9屯メバチは好漁期ですが2月よりやゝ落ちて3.9屯程度でしよう。

東部太平洋第3漁場（5°N—10S, 150°W以東）

この漁場はキハダ、メバチ共に緯度によつて異なり、キハダは赤道以北の海域は不漁期で0.9屯、赤道から南緯10°までが好漁期で2.7屯、メバチは赤道以北の海域が好漁期で3.9屯、赤道から南緯5°までが好漁期の後で2.8屯、南緯5°から7°までが好漁期で5.6屯、南緯7°以南は不漁期で漁獲は殆んど無いでしよう。

中部太平洋第1漁場（20°—40°N, 170°E—150°W）

メバチは好漁期の後で1.3屯、マカジキ、ビンナガは共に不漁期で漁獲は殆んど無いでしよう。

中部太平洋第2漁場（5°—20°N, 170°E—150°W）

メバチは好漁期で漁獲は東へ行く程良く、大体180°以西の海域が1.8屯、180°から西経170°が2.7屯、西経170°から160°が3.1屯、クロカワは不漁期で0.2屯程度でしよう

中部太平洋第3漁場（5°—10°S, 170°E—150°W）

キハダは好漁期の前に当たり赤道から北緯5°までの海域は2.2屯、赤道から南緯10°までが2.6屯、ビンナガ不漁期で漁獲は殆んど無く、クロカワは南緯5°以北の海域が不漁期で0.2屯、南緯5°から10°までが好漁期後で0.7屯程度でしよう。

中部太平洋第4漁場（10°—30°S, 170E—150°W）

この海区は主としてビンナガの漁場ですが、ビンナガは好漁期前で0.4屯、マカジキは不漁期で漁獲無く、クロカワは好漁期でタヒチ島周辺が2.0屯、その他の海域は1.0屯程度でしよう。

中部太平洋第5漁場（30°—40°S, 170°E—150°W）

この海区はゴウシユウマグロの漁場で漁獲は180°以東の海域が3.6屯、180°以西は2.7屯、ビンナガは0.2屯程度でしよう。

西部太平洋第1漁場（20°—40°N, 120°—170°E）

キハダは不漁期で0.1屯、メバチは北緯30°以北の海域は東経150°以東が不漁期 150°以西が好漁終期、又北緯25°から30°までの海域が好漁終期で漁獲はいずれも0.2屯、ビンナガは北緯35°以北及び東経160°以東の海域は移動群通過后で漁獲無く、北緯30°から35°東経140°から160°の海域は好漁期で0.3屯、北緯30°以南の海域は0.1屯程度でしよう。クロカワ、マカジキ、メカジキは不漁期で漁獲は殆んど無いでしよう。

西部太平洋第2漁場 (5°—20°N, 120°—170°E)

メバチは不漁期で0.3屯、クロカワは好漁期で0.3屯程度でしよう。

西部太平洋第3漁場 (5°N—10°S, 120°—170°E)

キハダは北緯5°から南緯5°までの海域が好漁初期に入り1.2屯、南緯5°から10°までが不漁期で0.6屯、クロカワは0.3屯程度でしよう。

西部平洋漁第4漁場 (10°—30°S, 140°—170°E)

キハダは好漁終期で1.5屯、ビンナガは緯度によつて異なり南緯10°から13°までの海域は2月より良く0.7屯、13°から20°までが2月より悪く0.3屯、20°から22°までは2月と同様で0.2屯となり、22°以南は漁獲殆んど無いでしよう。又マカジキ、シロカワは不漁期で漁獲は無いでしよう。

南支那海及びバンダ海漁場

南支那海はキハダが不漁期で0.9屯、メバチが好漁終期で0.7屯、バンダ海はキハダメバチ共に不漁期でキハダが1.3屯、メバチが0.4屯、シロカワは時々アル諸島周辺で漁獲されることがあり、漁獲は1.2屯程度でしよう。

ベンガル灣及びアラビア海漁場 (5°N以北)

ベンガル灣はキハダ、メバチ共に好漁初期でキハダ1.5屯、メバチ1.3屯、それにマカジキが0.2屯、アラビア海はキハダが好漁期で3.0屯、クロカワは好漁後期で 東経65°以東の海域が1.0屯程度でしよう。

中部印度洋漁場 (5°N—10°S, 100°E以西)

キハダは好漁期で東経70°以東の海域が2.0屯、70°以西が3.0屯、メバチ、ビンナガは不漁期でそれぞれ0.5屯、0.2屯程度でしよう。

濠洲西方漁場 (100°E以東)

キハダは、ジヤワ、小スンダ南方海域が好漁終期で1.1屯、ビンナガは好漁初期で0.2屯、インドマクロは南緯20°以南が2.6屯、クロカワは0.5屯、シロカワは0.1屯程度でしよう。

まぐろ研究報告の紹介

No. 9

東支那海マグロ延縄漁業の研究―II
マカジキの生態について

古川一郎，古藤　力，小玉恵一

（南海区水研報告　8，1958）

140°E以西の中部太平洋に分布するマカジキの生態特性について，若干の知見が得られたので報告する．

1.　中緯度の北太平洋に来游するマカジキはほぼ140°Eを境として東沖合に移動するものと西方水域即ち東支那海域に移動する二つの系統が考えられる．

2.　東支那海漁場に来游するマカジキは，沖縄漁場に来游する125cm級群及び155cm級群によって維持されている．

3.　体長組成の変動から沖縄漁場は前記両群についての補充領域，東支那海漁場は生長領域と見ることが出来る．

4.　145cm以下の小型群及び175cm以上の大型群の釣獲率の年次的増減傾向は，マカジキ資源内部における変動によるものと推測される．

5.　小型群の釣獲率の増加傾向は沖縄漁場では隔年的で，偶数年に高く奇数年に低いが，東支那海漁場ではこのような隔年的変動はみられない．

6.　小型群の平均体長の年次的変動からみて，東支那海漁場のマカジキに変動の影響があらわれるのは，沖縄漁場に比べて約1年位の時間のおくれがあるらしい．

7.　東支那海漁場にマカジキの北上群があらわれるのは5～6月頃であるが，特に7～8月が盛期であろうと思われる．来游群は11月頃迄この海域内で生活した後南下移動するが，南下速度は北上速度に比べて可成り速いのであろう．

8.　比較的大型の魚体は海域内に残留し，3～4月頃浮上群として突棒の対象となる．従ってマカジキには南北移動の他深浅移動がみとめられる．

9. 肥満度の生長に伴う変動は，魚体部位の非比例的生長によるもの即ち体形の変化を伴う一が大きく，季節的変動は産卵索餌等の生理生態関係によるところが大きいと推測されるが，これらの点については今後の吟味に俟つことにする．

かつお，まぐろ漁業経済調査報告第1報
茨城県かつお，まぐろ漁船の生産性及び水揚収益に関する調査

久保雄一，武藤康博

（茨城県水試試験報告昭和31，32年度，1959）

本県のかつお，まぐろ漁船は近年急速に大型化され，その隻数は約70隻に達している．此等のかつお，まぐろ漁船は漸次遠洋漁場への進出に目覚めつつあるが，未だ従来の近海漁業に依存する傾向が強い．従ってより生産性の高度な漁場への進出に寄与する資料として，本県かつお，まぐろ船の経済調査を実施し現在本県船の進出している全海域について主として漁場別，規模別生産性，経費及び水揚収益を解析し，その結果を此処に報告する．

現在の茨城県かつお，まぐろ漁船75屯～175屯未満の普通兼業型漁船範囲内では上述の調査により100屯以上に比し100屯未満船は各漁業に於て生産性が著しく低く経営上極めて不利である事が立証された．次に各漁業の単位時間当り生産性と水揚収益は可成特徴的である．即ち現在の兼業形態内で生産及び収益面から云って最も有利な漁業は，かつお1本釣（6～8月）とさんま棒受網であろう．此等二つの漁業は主として東北海区で操業され，主として該魚業自体の持つ，Abandance の大きさに起因するが他にも原因があった．31年における那珂湊港に於けるさんま平均魚価は118円と可成りの高値を示したし，昨年度かつお平均価格も331円と高値を示した．春びんなが漁は最近年間魚況悪く生産性は見掛上最も悪い．冬びんなが漁において本年 E 157°～E 164°，N 36° 付近漁場は漁á

悪く，金華山沿岸 100 浬付近のびんなが漁は稍好漁を示し，結果的には沿岸漁の方が良かった．例年12月の E 168°～170°，N 36°～37°海域はびながの拡散時に多く当り10月～11 月頃が最も好漁がある．この海域へ出漁するなら10月～11月が最も期待出来る．

春～秋までのとんぼ，かつお 1 本釣は夏のかつお 1 本釣或はさんま棒受網と同等以上の生産性を持ち水揚収益において之に近い収益を期待出来る注目すべき漁業であろう．「夏かつお＋準備期＋さんま漁業」と比較した場合生産性において約 4 割大きくなり収益面でも 1 割以上大きくなる．併し此等の例は三重人を乗組員及び漁撈長として持った場合であり，本県人乗組員の場合は此の程度の成果は期待出来ないかもしれない．西カロリン群島海域の赤道反流及び北赤道流域の黄肌及び目鉢を狙ったまぐろ延縄は同時期の冬びん漁より生産性及び収益面において見掛上やや劣って見える．併し本県の現存船でも 125 屯級船で冷凍機を設備し，乃至は，魚艙防熱装置を施し，此の海域の操業に習熟すれば此の漁業の生産性及び収益は飛躍的に増大する可能性がある，次に此等鮪延縄漁業の理想的形態に近いものとして，350 屯級船による印度洋，太平洋のびんなが，黄肌，黒皮操業がある．生産性に於てかつお，さんまその他の漁業に抜群の高さを誇り，水揚収益面でもかつお，さんまの1.3倍～1.4倍，冬びん漁に比し 4 倍，春びん漁に比し 6 倍以上となる．漁場としては，太平洋全域，印度洋，アラビア海及び大西洋両岸等が対象となり 1 航海生産 2,000 万円以上が期待され年 3 航海，年間生産量約 6,000 万円，収益 4,700 万円～が予定し得る唯一の漁業である．現在本県関係漁業中最も生産性の高く安定した漁業で資金面で許すなら大型鮪延縄漁船の経営に踏切るべきであろう．最後に小型船による東支那海さば釣漁業がある．生産性において，同時期のさんま漁業の約 6 割，収益面においては，約 4 割と低いが冬びん漁，春びん漁よりは高く，100屯174屯級船を使用すればさんま漁業程度の生産性は期待し得る可能性がある．最後に本県の現在の屯数階級程度のかつお，まぐろ船による兼業形態としては最小限度漁船防熱装置工事をして次のどれかの形を採る事が漁場生産及び収益面から見て原則的には望ましい．

1. かつお，びんなが 1 本釣（3 月～10月）→赤道反流，南北赤道流域のまぐろ延縄（11月～ 2 月）
2. かつお，びんなが 1 本釣（3 月～10月）→ E 160°～170°，冬びん釣（10月～11月）→赤道反流，赤道流域，まぐろ延縄（12月～ 2 月）
3. かつお，びんなが 1 本釣（5 月～ 8 月）→さんま棒受網（9 月～11月）→赤道反流，赤道流域のまぐろ延縄（12月～ 4 月）
4. かつお，びんなが 1 本釣（5 月～ 8 月）→さんま棒受網（9 月～11月）→東支那海さば釣（11月～ 4 月）

まぐろ延縄漁業における漁獲率の海区別経年変化の概観

（2）

永井　三夫・中込　淳・福岡　信之
（神奈川県水産試験場）

2 メバチ

メバチの経年変化は図2に示すが，同図は（A）太平洋西経漁場で概して漁獲率が高く，同図（B）は太平洋東経及び印度洋漁場で概して漁獲率が低い．

1） 0～20°N，140～120°W の海区，ハワイ南東5°以北，20～30°N，160～140°Wの海区は，類似の経変年化をしており，昭和29～34年が高率，32～34年が低率である．

2） 30～40°N，180～140°Wの海区，ミッドウェー海区は，隔年周期の変化が顕著である．

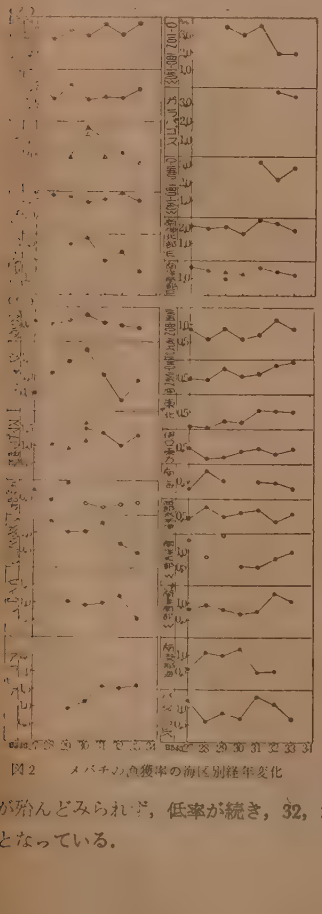


図2　メバチの漁獲率の海区別経年変化

3） ハワイ南西海区5°N以北，南洋北部170°E以東，南洋南部170°E以東の海区は，類似の経年変化をしており，昭和30年が特に低率，31年または32年が特に高率である．

4） 南洋北部170°E以西，南洋南部170°E以西の海区は，上述の3海区にやや類似しているが，昭和31年以前は年による差が殆んどみられず，低率が続き，32，33年のみが高率となっている．

5） 北西太平洋の35～40°N，150～180°Eの海区，30～35°N，150～180°Eの海区，東北海区は類似の変化をしており，昭和29年に稍高率になった後，31，32年，または32年に高率になっている．

6） 伊豆諸島東方海区と西部太平洋亜熱帯海区は，昭和29年以降類似の経年変化をしており，概して，29，32年が低く，30，31年及び33年が高い．

7） 南支那海は昭和28～30年が高率，31～32年が低率，バンダ，フロレス海区は27年及び31，32年が高率，28～30年及び33年が低率である．

8） ジャワ沿海，スマトラ西岸沿海はほぼ同変化で，昭和30年を最高率，27，32年を最低率に，ぜん増及びぜん減している．小スンダ，チモール沿海は，やはり30年が最高であるが，上述の2海区に比し低率であり，また年間の差も非常に小さい．

9） アンダマン，ニコバル海区とセイロン海区は，互いにやや異なり，前者が昭和31年まで高率で以後低下，後者は32年まで高率で以下低下している．なお，この低下は，湾奥部（5°N以北）の漁獲率，及びその低下の影響が大きく加わっている．[1]

10） アラビア海区は，印度洋における他海区と異なり，昭和29～30年が低率，31～33年が高率である．

文　献

1） 中込　淳：日 水 誌　25（3），1959

回転式桶を用いてマグロ延縄漁具を取扱う一つの新しいこころみ

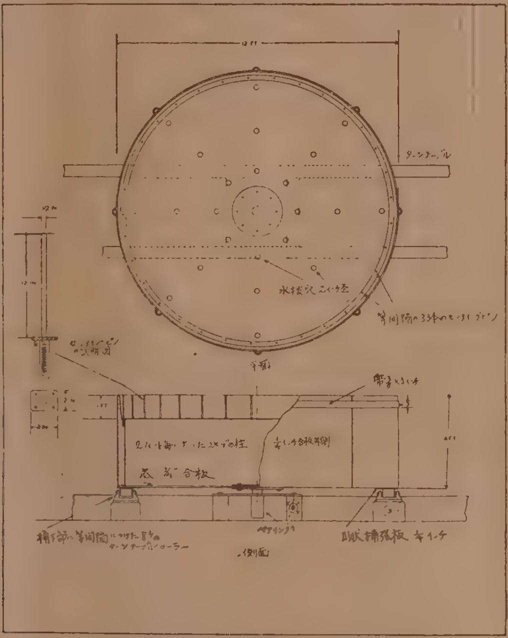
（2）

太平洋水産研究所
ハーバート・ジェイ・マン
訳文　河口喬太郎

（前号掲出項目）
要約　緒言　最近の改良
桶の構造

投縄用滑台

第2図に示される投縄用滑台は，取はづし可能な板金のもので投縄中外出する幹縄を制限し，又導くためのものである．総体的に北太平洋東部のオヒョウ漁業



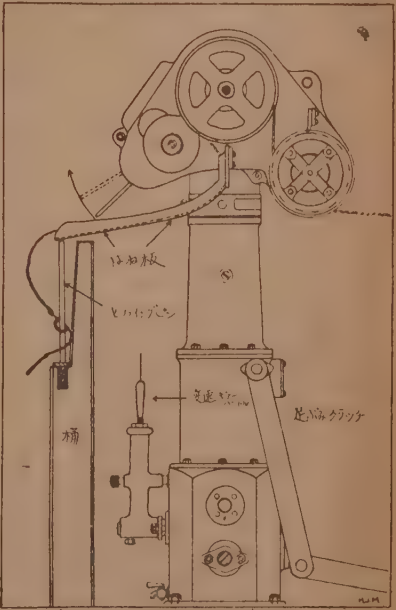
第3図　縄格納桶の構造図

に用いられる形によく似ている．台の内側の縁は桶の端のセッティングピンのやや少し内側に据えられている．最初の設備ではセッティングピンからD型リングを順調にとりはづしてゆくのに若干困難が感じられた．この為，ピンと台の内の関連性を適当に保たせるよう桶との高さ，距離を簡単に調節できる様に台を改良することが必要であった．

ラインホーラー

漁具は従来の日本のラインホーラーで揚げる．ウインチの内でもこの型は高速で廻るが惰力が少く枝縄をかわすために屢々幹縄をストップしなければならない様な延縄の操業には，特に適合する．

ラインオーラーは桶のはじのできるだけ近くのターンテーブル上に据つける．ウインチに変速用レバーがでているためにラインホーラーの内側滑車輪を桶をこえて据つけることはできない．それでラインホーラーと桶の間の間げきに跳ね板をかけるようにする．この板は内側端の高さをかえることによって，色々な角度で縄を入れられるように調節できる．ラインホーラーはレールに据つけられた足ぶみクラッチで調節されるのでウインチの使用者は，船内に来る縄をはっきりとみることができる仕組である．魚をあげ易い様に縄は主甲板の右舷側に据えられたサイドローラーを通じて導かれる．枝縄と浮子縄はこの低い面でとりはづしが行われる．太水研の船上ではラインホーラーは3.5馬力の電動機を5分の1に減速して駆動されるか，14馬力の水圧ドライブによって動かされる．300回転/分の捲込速度は，高速ギヤーで1分間1.000フィート（300m），



第4図　桶とラインホーラーの配置

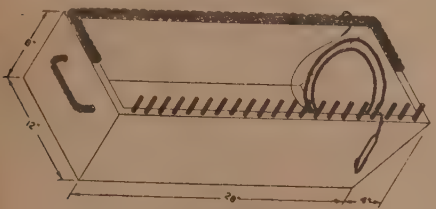
低速で500フィートである．

漁具による操業

出港前に幹縄の鉢は全部つないでラインホーラーを通して格納桶に収める．縄を一様にコイルさせることは必要がないが時々ラインホーラーの跳板（デフレクタープレート）の角度を変えて桶の底に縄が一方から他方にゆきわたるようにする．D型リングはラインホーラーを通過した時一人がつかみ，これをラインホーラーに一番近いセッティングピン（第4図参照）に通す．1鉢分のリング全部は同じピンに置く，又鉢の端のクローバー結びの部分は一番上に環にしてマークしておく．それから桶を手で廻してどれかのピンがウインチと同じ線に合う様にする（続く鉢のリングは同じピンに通して縄が余り多くゆだねられないように交互に通す必要がある）桶が完全に一回転した後同じ様な行程を繰返し33鉢の三つ重ねができあがるわけである．桶は投縄前に縄が乱されないように防水布をかぶせておく．

投縄作業

漁具を投縄するときは，船を9ノットの速さにして，舵を定める．桶は一番上の鉢のセッティングピンが投縄用滑台の中央にくるまで廻しておく．幹縄の端は投縄用滑台を通しておく．ぼんでん竹と浮子縄及び浮子をとりつけ，これを海中に投ずる．その後この端の鉢の抵抗で桶から幹縄が滑り出す．



第5図 枝縄格納箱

枝縄にはイワシかニシンがとりつけられる．枝縄の上端にあるA.K.式とりつけ金具がピンからD型リングをはづすことなくDリングにかけられる．外にすべり出している幹縄はリングと枝縄をピンからひったくり船外に出てゆく．浮子縄も同様にとりつけられる．

揚　縄

漁具は普通のやり方でラインホーラーを通して幹縄を揚げ桶に入れられる．枝縄が船上に来たときにラインホーラーは瞬間的にストップしDリングからスナップをとりはづす．枝縄はコイルして特別に合板で設計された（第5図参照）箱にしまわれる．これ等はコイルしたものをしまいやすいように縁に勾配をもたせてある．Dリングは前述した様にピンに通される．魚は鈎でかけて第2図に示す様に舷門を通して船上にひきあげられる．

検　　討

本法の評価…本法はまだ試験段階であり改良すべき点は多々あるが企業的に実施可能である様にみられる．従来の方法を用いた場合には，通常11名からなる太水研の乗組員が60〜100鉢の漁具を使用すると日々の操業の為に1〜2トンの湿った縄を備えたり接いたり格納したりしなければならない．幹縄の操作を省くことによって乗組員の力が半分以上削減されるであろう．両法に対する操業時間は殆んど同じであり平均，揚縄に1鉢3.5分，投縄に1鉢2.5分であった．この様に新しい方法では小型船で4〜5人乗組み，1日100又はそれ以上の縄鉢を使うことが可能の様に思われる．

欠点……然し乍らこの方法は単に試験的に行われたのみで更にテストしこの漁具に慣れることが企業的適性を満足させるに必要であることが肝心であろう．これまでにわずか2.3の欠点が設計の上に指摘された．しかしこれらは非常に小さなものである．一つの予期された難点は投縄中の桶の中の幹縄のもつれであり．これも実際にあった．しかしこれは手で鉢を組立てながら投入する時よりは少いものであったようだ．これまでにみられた一番大きな欠陥は投縄中ローラーとラインホーラー上でDリングがぶつかることによってひき起された．ブライドルに於ける幹縄の磨損や切断である．これをさけるためにローラーの直径を太くしリングのサイズを小さくした．

両者の難点を除くためには，Dリングと同じ位い回転自由で，而も容積の小さい撚戻しを用いて幹縄に枝縄をとりつける方法をみいだすことが必要であろう．

もう一つの欠陥は，幹縄をつないだ結び目がラインホーラーを通ることにより速かにすりへり幹縄自身がすりへる前に接ぎ目で再び切ってスプライスする必要があるということである．

参考文献

マン・エッチ・ジェー（Mann, H. J.）1955．太平洋水産研究所で使用の改良マグロ延縄漁具の構造
（Commercial Fisheries Review Vol. 17. No. 12（12月）PP.1-10（別冊 No. 422）

ニスカ・イー・エル（Niska. E.L.）1953．太平洋水研使用のマグロ延縄漁具の構造
（Commercial Fisheries Review Vol. 15. No. 6（6月）PP.1-6（別冊 No. 351）

ベンガル湾におけるキハダの漁況と分布の経年および周年変化*

中　込　　淳（神水試）

ベンガル湾におけるキハダは，1957年までは春季になると必ず好漁となったが，1958年は今までにない不漁状態が続いた．著者は，この不漁が，1958年のみの特異な現象なのか，また，漁場がどのような変化をしたかについて調べたところ，2，3の傾向を知ることができたので，ここに報告する．

御指導，御べんたつ下さった神奈川県水産試験場永井三夫場長に対し，衷心より謝意を表する．

資料および方法

漁況は釣獲率（釣100本当りの漁獲尾数）を用い，先ず，釣獲率の経年変化により漁況の年間の関係を調べ，つぎに，釣獲率の年別周年変化により好漁期を推定し，その好漁期における分布の経年と周年の変化を，年別，または年，月別および緯，経度5°区画毎の釣獲率により調べた．

漁況および体長の資料は，マグロ延縄漁船の資料で，三崎入港船については神奈川県水試，焼津，東京入港船については南海区水研が可能な限り全て蒐集，測定し，神奈川県水試が整理したもののうち，ベンガル湾付近において操業したものを抽出し，分析しなおして算出したものである．

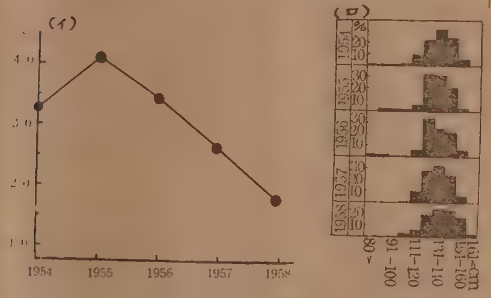


図1　ベンガル湾におけるキハダの漁獲と体長組成の経年変化
（イ）漁　獲　　（ロ）体長組成

結果および考察

ベンガル湾におけるキハダの釣獲率の経年変化は図1.(イ)に示す．すなわち，操業の始められた1955年にかけていったん上昇した釣獲率は，後，1958年にかけて年々低下しており，1958年の不漁が，1958年にのみ起きた突発的な現象ではないことを示している．そして，この釣獲率の低下は，年別体長組成においてほとんど差がなく図1.(ロ)，したがってすべての大きさの魚におよんでいることがわかる．

表1　ベンガル湾におけるキハダの漁獲の年別周年変化

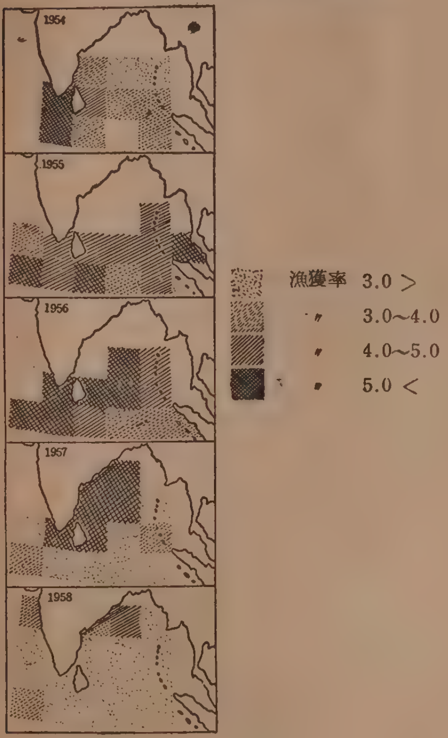
年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1945			5.1	4.5	2.9	2.7	4.6	2.8	2.6	0.7		
1955	5.7	4.1	5.8	5.2	4.3	4.5	4.3	4.2	2.2	2.2	2.6	3.0
1956	4.0	3.6	4.8	5.3	5.7	3.3	2.4	2.2	1.7	2.7		1.5
1957			3.1	3.7	4.8	2.6	3.1	1.6			1.3	
1958	2.0	2.2	2.2	2.4	2.3	1.2	0.9	1.8				

ベンガル湾におけるキハダの釣獲率の年別周年変化は表1のように，どの年も年の前半（1～7月）に高率，後半（8～12月）に低率で，印度洋の5°N～10°S帯の諸海域と同傾向である．

そこで，好漁期2～6月における分布の経年変化をみると，図2のようになる．すなわち，1955，1956年は海域全般にわたって高率であったが，1957年以降，低率の海域が南東から次第に拡がり，1958年には，高

* これは日本水産学会誌　25（3），1959を要約したものであるが，本誌漁況と海況報告を参照されると，1959年の傾向が理解される．

図 2　ベンガル湾の好漁期におけるキハダの分布の経年変化



率の海域は西北の湾奥のみとなっている.

なお，好漁初期を除く 3～6 月の分布の周年変化を年別にみると経年変化程明らかではないが，ほぼ南東から低率となっている.

摘　　要

1) ベンガル湾におけるキハダの漁況と分布の経年周年変化について調べた.

2) 1958年の不漁は，突発的な現象ではなく，1954年から1955年に上昇した後，年々低下してきたものである.

3) しかして，この低下はすべての大きさの魚体におよんでいる.

4) 周年の釣獲率は年の前半が高率，後半が低率である.

5) 1957，1958年の低率は南東の海域から次第に拡がり，1958年には，西北の湾奥部のみが高率である.

6) 年毎の周年変化においても，多少，南東から低率となる傾向がうかがえる.

文　　献

1. 神奈川県水試　昭和32年度業務報告1959
2. 三 村 皓 哉　　鮪 漁 業 54　　1958

比 重 調 整
樹 脂 加 工　クレモナまぐろロープ

特　徴
① ま ぐ ろ の 喰 い 良 い
② 毎 航 海 の タ ー ル 染 不 要
③ 他の追随を許さない耐久力と耐摩耗力

営業種目……クレモナ、綿延縄及び仕立、漁具一式、救命筏

アサヒテックスロープ株式会社

本　社　東京都三鷹市下連雀四〇〇番地　電話武蔵野(2)3978・7923番
出張所　神奈川県三浦市三崎町花暮一四四番地　電話　三　浦 2957番

番号	会員氏名	住所	職業	摘要
116	株式会社 山星船具店	神奈川県三浦市三崎町		
118	神奈川県漁業協同組合連合会 三崎出張所	〃		
119	宝幸水産株式会社三崎事業所	〃		
120	三崎無線電機工業所	〃		
121	大成水産株式会社	〃		
122	谷藤正		宮城丸船長	
124	田中譜一	焼津市鰯ヶ島		
126	村上米治	宮城県気仙沼市釜ノ前	海晴丸船主	
127	日本鰹鮪漁業協同組合連合会	東京都千代田区平河町2の7		
128	小松賢一	横須賀市浦賀町新井	姫丸船主	
129	〃	〃		
130	稲垣仁	宝幸水産株式会社	36宝幸丸船漁長	
134	湘南水産工業株式会社	神奈川県三浦市三崎町		
139	大山公男	横須賀市池上町3884		
141	加藤春男	神奈川県三崎水産高等学校	みうら丸船長	
142	株式会社金指造船所 三崎出張所	神奈川県三浦市三崎町		
148	柳下漁業株式会社	〃		
149	〃	〃		
150	〃	〃		
153	住吉漁業株式会社	〃		賛助会員
154	〃	〃		
155	〃	〃		
156	〃	〃		
157	〃	〃		
158	〃	〃		
159	船山喜四郎	日魯漁業株式会社		
160	田中信男	丸高水産株式会社		
161	神奈川県鰹鮪漁業者協会	神奈川県三浦市三崎町		賛助会員
164	水内昭三	報国水産株式会社		
165	毛利哲也	高知県安芸郡室戸町	5　大　丸	
166	毛利賢吉	〃	7　大　丸	
169	御前崎遠洋漁業協同組合	静岡県榛原郡御前崎町		
173	白鷹丸	〃		
175	第一昭鵬丸	〃		
176	徳南水産株式会社	神奈川県三浦市三崎町		
177	〃	〃		
178	鈴木重道	神奈川県水産試験場		
179	石渡庄次	神奈川県三浦市三崎町西浜		
180	日本民衆産業株式会社	東京都中央区日本橋室町3の3麻網会館		
181	下田船渠株式会社	静岡県賀茂郡下田町		
182	天野郡治	山口県下関市名池町1667	天洋漁業株式会社社長	
183	芝田康弘	報国水産株式会社		

番号	会員氏名	住所	職業	摘要
184	粕谷昇	宝幸水産株式会社	第35幸宝丸船長	
185	日本漁網船具株式会社	東京都千代田区丸ノ内丸ビル6階		
186	〃	〃		
187	〃	〃		
188	株式会社 東京商社	東京都中央区銀座西2の3中島ビル		
190	宮田良男	高知県安芸郡室戸町	第二龍王丸船主	
193	泉井安吉	〃	新南丸船主	
194	〃	〃	〃	
195	〃	〃	〃	
196	毛利賢吉	〃	大丸船主	
200	順光漁業株式会社	神奈川県三浦市三崎町花暮		
201	〃	〃		
202	〃	〃		
203	阪神内燃機工業株式会社 東京支社	東京都千代田区丸ノ内丸ビル6階		
204	日新興業株式会社東京支社	東京都中央区銀座西6の3朝日ビル		
206	福生水産株式会社	神奈川県三浦市三崎町花暮		
207	金沢徳尾	〃	光栄丸船主	
208	伊藤漁業株式会社	神奈川県三浦市三崎町仲崎		
209	山村利久	〃 花暮		
210	〃	〃		
211	日本冷蔵株式会社 三崎工場	〃 宮城		
212	極洋捕鯨株式会社	東京都千代田区丸ノ内2の20		
213	コロンビア・リバー・パカース・アソシエイション・インコーオポレイト	東京都千代田区丸ノ内住友ビル		
218	横田宏	住吉漁業株式会社		
219	喜舎場義夫	〃	第36住吉丸船長	
220	日向義孝	千葉県松戸市上矢切南台135		
221	池田義明	神奈川県水産試験場		
222	湊勝雄	神奈川県三浦市三崎町		
226	中野俊伸	横須賀市浦賀町	第7孝栄丸	
227	中野時馬	高知県安芸郡室戸岬町	第5孝栄丸	
228	氏原保	横須賀市浦賀町	第5明賀丸	
230	米田増市	神奈川県三浦市三崎町東岡3295	28琴平丸漁撈長	
234	千葉県漁業指導船運営事務所	千葉市市場町2 日赤会館内		
235	大洋漁業株式会社 長崎支社漁業課	長崎市台場町3の3 長崎ビル5階		
240	安房水産高等学校	千葉県館山市長須賀		
241	若千葉丸	安房水産高等学校		
245	千汐丸	〃		
247	室戸中学校	高知県安芸郡室戸町		
248	丸高水産株式会社	神奈川県三浦市三崎町		
253	下里和須蔵	〃	共和丸船主	

番号	会員氏名	住所	職業	摘要
255	株式会社 光電製作所	東京都品川区上大崎2649の2		賛助会員
257	奥津水産株式会社	神奈川県三浦市三崎町		
258	〃	〃		
259	日本冷蔵株式会社横浜工場	横浜市栄町4の86		
561	米沢松之助	高知県安芸郡室戸町	高取丸船主	
262	〃	〃	〃	
263	〃	〃	〃	
264	〃	〃	〃	
271	福島芳清	大洋漁業株式会社三崎営業所		
272	用宗遠洋漁業株式会社	静岡市用宗1318		
273	〃	〃		
274	〃	〃		
275	〃	〃		
276	清寿漁業株式会社	清水市港町3の3		
277	〃	〃		
278	〃	〃		
279	〃	〃		
280	株式会社三保造船所	清水市三保3797		
282	株式会社金指造船所	清水市三保30107の19		
285	岡里治	日魯漁業株式会社		
288	島津誠	株式会社山口県漁業公社		
290	井上正昭	神奈川県水産試験場		
292	新井喜一郎	焼津市城之腰115の1		
293	山口幸一	焼津市鰯ヶ島216	12 三徳丸	
294	滝口佐左衛門	焼津市北浜通216	15 大洋丸	
295	塩谷吉之助	焼津市浜当目117	15 福吉丸	
296	大久保乙蔵	焼津市浜当目51	6 八千代丸	
297	塩谷喜一郎	焼津市浜当目117	12 福吉丸	
298	秋山保雄	焼津市北新田71	15 松盛丸	
299	北原源之丞	焼津市北新田1	12 東洋丸	
300	近藤久次郎	焼津市北新田126	12 富久丸	
301	近藤勝次	焼津市焼津902	25 日之出丸	
302	小林惣一郎	焼津市小川町	8 福徳丸	
303	浅原寛司	焼津市焼津59の2	長久丸	
304	沼野保吉	焼津市	繁伍丸	
305	赤阪正治	焼津市中392の1	株式会社赤阪鉄工所	
306	鈴木錠一	焼津市鰯ヶ島268	2 吉祥丸	
308	佐藤円一郎	焼津市浜当目175の3	11 増徳丸	
309	日本鋼管株式会社清水造船所	清水市三保塚間395		
310	達美丸	高知県安芸郡室戸町		
311	山本勝馬	高知県安芸郡室戸町	第2共和丸船主	
315	小笠原福男	大成水産株式会社		
318	山本源吉	三重県志摩郡和具町	源吉丸	

番号	会員氏名	住所	職業	摘要
320	東貿易株式会社	東京都千代田区丸ノ内丸ビル6階		
321	畠山啓次	神奈川県三浦市三崎町	精良丸	
323	阪神内燃機工業株式会社 牟田業務部長	神戸市長田区1番町		
324	〃 企画室			
326	石井保		第1昭和丸船長	
330	浪江春男	日魯漁業株式会社	第35黒汐丸船長	
322	用宗水産株式会社	静岡市用宗1285		
335	佐々木昼	柳下漁業株式会社	第12海幸丸船長	
336	松本竹治	宝幸水産株式会社		
337	吉田清八	神奈川県三浦市三崎町六合3538	福吉丸船主	
338	崎島理平	神奈川県三浦市三崎町	崎吉丸船主	
342	福島福一	神奈川県三浦市三崎町	第12福生丸船主	
344	水戸邦雄	神奈川県鰹鮪漁業者協会		
347	上原虎松	横須賀市洲崎164	高知丸船主	
348	山中久作	焼津市鰯ヶ島258		
349	福島県立小名浜水産高等学校	福島県磐城市栄町12		
352	北海道大学水産学部図書館	北海道函館市港町		
356	林信雄	神奈川県三浦市三崎町東岡		
357	金沢徳尾	神奈川県三浦市三崎町花暮	光栄丸船主	
358	〃	〃	〃	
359	古谷清	神奈川県水産試験場		
361	長崎県立長崎水産高等学校	長崎市磯道町		
362	宮崎水産高等学校	宮崎市日之出町1		
364	新潟県立能生水産高等学校	新潟県西頸城郡能生町		
365	室戸岬水産高等学校	高知県安芸郡室戸岬町		
366	橋本英雄	五洋水産株式会社		
367	八幡米一郎	新潟市西港町2の2677		
370	株式会社産研	静岡県沼津市千本常盤町		
371	琉球水産株式会社	那覇市西新町三重城		
375	山下文男	横須賀市浦賀 室戸岬船員同志会	第8福丸	
377	藤井武治	北海道大学水産学部	助教授	
378	事代漁業株式会社	神奈川県三浦市三崎町		賛助会員
379	福島県水産試験場	福島県磐城市栄町		
380	斎藤市郎	北海道大学水産学部	教授	
383	近藤富重	日魯漁業株式会社		
388	出口誠二	奥津水産株式会社		
393	肥後政彦	福島県水産試験場	磐城丸	
397	湯池貞幹	神奈川県水産試験場	たちばな丸	
400	宮崎大学農学部図書館	宮崎市船塚町		
401	豊浜漁業協同組合	愛知県知多郡豊浜町		
403	鈴木正一郎	静岡県沼津市江ノ浦145の1	第8盛秋丸船長	
405	湊淳治	神奈川県三浦市三崎町花暮113		

（つゞく）

業界メモ

1960年1月

1月8日　ソ連新型ロケツト発射

ソ連は7日夜新型ロケットを太平洋に発射すると発表した。期間は1月15日より2月15日まで、航行禁止区域は 9°06′N、170°46′W、10°22′N、168°22′W、6°16′N、166°19′W、5°03′N、168°40′W の各点に囲まれた海域である。（読売）

1月12日　耕洋丸、ニユージランド東西海岸調査終える

耕洋丸はニュージランド東西海岸の調査を終えた。なお、東海岸で獲ったマグロ45尾は、インドマグロと濠洲マグロの違いを研究するため生かしたまま持ち帰るようにしている。（水経）

1月13日　海外マグロ宣伝費増枠

明年度海外マグロ普及宣伝費は、今年度の倍の2500万円までの枠が認められたため、業界の協力支出があれば5000万円までの海外消費普及宣伝が行われることになった。（水経）

1月22日　ユーゴーなど漁船建造を計画

ユーゴー、フランス、イタリアなどのマグロ需要国では、近来マグロ製品の需要増加傾向に対処するため、自国でマグロ漁船の建造を計画、大西洋漁場への進出を企図している。（日水）

1月27日　日、米で調査船

米国からの要望で、ビンナガの産卵期と場所を究明するため、日米が時を同じくして20°Nの太平洋の西熱帯海区に調査船を出すことになった。（水経）

1月31日　35年度対米マグロ枠決る

冷凍食品輸出組合は、このほど、35年度の対米輸出マグロの出荷枠を、ロイン4,000トン、ビンナガ30,000トンと、各部会で決定した。

——お　願　い——

◎会員各位の鮪漁業に関する調査や研究或は体験、漁具漁法の改良、遭難防止等についての投稿其の他写真を御願い致します。

◎本会に入会を希望される方は住所、氏名、職業、会誌の送り先を記入の上年間会費1,500円（他に会誌送料 200 円）を添えて研究会宛御申込下さい。

◎本誌に広告掲載希望の方は本会伊藤専務理事迄御申込下さい。

◎昭和33年分34年分会費（一ヵ年分1,700円）未納の方は本会宛至急払込送金方（振替貯金口座横浜1472）お願い致します。　尚整理の都合もあり会費切れの向には一時会誌の送本を中止致しますからお含み願いあげます。

鮪漁業

1960年2月号

昭和35年2月10日印刷
昭和35年2月10日発行
監修　神奈川県水産試験場
編集兼発行人　菅野進
神奈川県三浦市　神奈川県水産試験場内
発行所　鮪漁業研究会
（振替貯金口座 横浜 1472）

營業品目

商船用・漁船用並に陸上用無線通信装置

SSB 無線装置の製造・装備・補修一式

七洋電機株式会社

本社　東京都目黒区中目黒4丁目1315番地

電話目黒（712）2525・2526・3314番

▷最高の技術……永い信用◁

營業種目	高級無線通信機	ラジオヒーター
	船舶用無線機	放送施設一式
	高級無線用測定器	極超短波通信機
	超短波通信機	ビーコン装置
	VHF新聞通信社用	

國際電氣株式會社

取締役社長　山下知三郎

本社・工場	東京都北多摩郡狛江町和泉150	電話砧(411)(代)7171—9番
		電話武蔵調布472番
東京營業所	東京都港区芝西久保櫻川町9	電話芝(431)代表7373—9番
大阪出張所	大阪市北区中之島2の25（江商ビル508号室）	電話北浜(23)4553番
福岡出張所	福岡市天神町55（伊藤ビル）	電話中(4)2569・8198番

太洋無線が世界に誇る

船舶用　航空機用　陸上用　各種

自動方向探知機

太洋無線株式会社

東京都澁谷区衆樂町48番地

電話澁谷（461）代表5283—9番

══設　備　完　成══

鋼木船造修一般

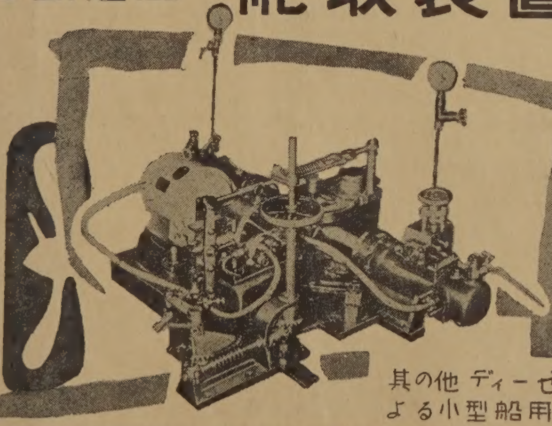
500噸船台三基
起重機10噸・5噸各一基

三崎船舶工業株式会社

本　社　東京都中央区西八丁堀2の10
電話築地（551）0966・0015
工　場　神奈川県三浦市三崎町向ヶ崎2446
電話（三浦）2880（代）・3141

川崎ヘルショウ式
電動油圧　舵取装置

1HP～3HP



其の他 ディーゼル機関の排気利用による小型船用 造水装置

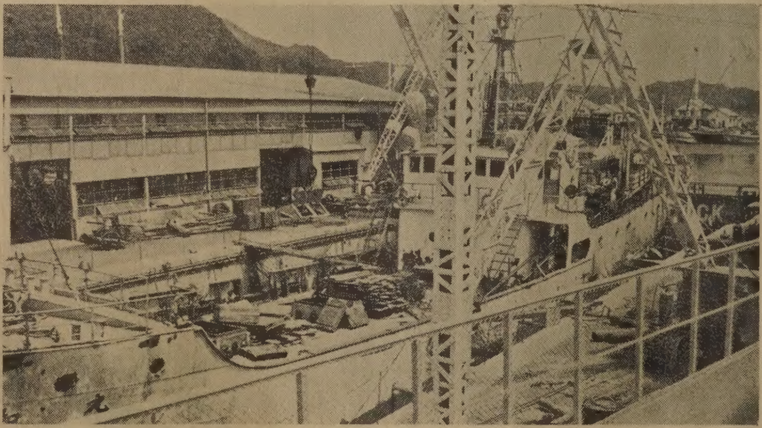
川崎重工業株式會社

神戸市生田区東川崎町二丁目一四（電）湊川（5）7531
東京支店　東京都港区芝田村町一丁目（日比谷ビル）（電）（59）6101
（本紙名記入の上御一報下されはカタログ御送附致します）

漁船の建造、修理の御相談は

ドライドック	大きさ	長さ		幅		深さ	
		59.15 米		14.0 米		6.6 米	
	入渠可能船舶	長さ(垂線間)	幅(型)	吃水(平均汐高線1.7米に於て)		総屯数	
		57.0 米	11.0 米	4.41 米		800屯	

船台兼船架	建造又は上架可能船舶	構造	長さ	総屯数	数量
		4条軌条算盤式	50 米	500屯	2
		2条軌条式	50 米	250屯	2



下田船渠株式会社

静岡県下田港　本社事務所 電話下田 1001(代表)～3番　本社現場事務所 電話下田1005(代表)～6番
武ヶ浜工場 電話下田 1008(代表)～9番
東京事務所　東京都中央区銀座東4―4 畜産会館1階　電話東京(541)9270(直通), 4121(代表)～8番

紫綬褒章に輝やく
泉井式ラインホーラー

株式會社　泉井鉄工所
高知県室戸町

昭和三十一年二月二十三日　第三種郵便物認可